

からぼり川

がたろう通信

第 91 号

2017年10月21日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

「南台小学校ヤゴ救出作戦」

分部 光春



例年恒例となった、南台小学校の「ヤゴ救出作戦」が6月1日晴天のもと3年生60名、先生2名そして当会会員6名で盛大に事故もなく行われました。

「ヤゴ救出作戦」とは夏のプールの授業前にプールの大掃除をしますがその中のヤゴたちを救出するという趣旨のもと、生態観察や、子供たちの狩猟本能の覚醒?などを目的とした野外授業です。年々実施する学校は少なくなりましたがそれでも南台小学校は毎年実施しており、南台小の子供たちには乞うご期待です。さてさてそんなことで、今年も事前の説明と、恒例のヤゴのお母さんは何メートル泳げますか?なんてクイズをやったり

トンボの一生なんてお話で、子供たちのテンションは Max、Max。今年の生徒さんはクイズも即正解、変態や羽化なんて難しい言葉もよくわかり、予習は充分のようです。早々に捕獲する班と集計班に分かれて「ヤゴ救出作戦」始まり始まり。今年は子供たちの元気さと環境が良かったのか？2000 頭以上のアカネ系（ヤゴでの種の特定は難しい）と 23 頭のシオカラ系そして 3 頭のヤンマと、ビックリするほど多くのヤゴを救出できました。

救出したヤゴたちは、実習田んぼに放流しておきました。元気に育って下さい。来年は原田さんの提案で、ヤゴ筏を浮かべて多くの種類のトンボが産卵できるようにと、先生方と相談してやってみる事に成りました。来年が楽しみです。今年もヤゴの持ち帰り希望が有り、多くの生徒がペットボトルに入れて持ち帰りましたが、お母さんたちはビックリだったかも。みんなトンボになれ！ちなみに私の簡易飼育セットでは 4 日後に赤トンボが立派に羽化しました。

今年もこのミッションを成功出来て、6名の会員は子供たちの尊敬の眼差しにメロメロの一日でしたが、子供たちに命の尊さや水の中の生き物について教える事が出来て大満足の 1 日でした、来年も子供達に負けず頑張りましょう。

追伸 問題です。ヤゴのお兄さんは 100m泳げます、お姉さんは 50mしか泳げません、さてヤゴのお母さんは何メートル泳げるとおもいますか？
即分かった方は編集部までご連絡下さい。良いことあるかもなんてね



馬頭橋右岸の「小彼岸桜」植栽の生みの親に寄せて

岡田 一郎

今年も、毎年恒例になった小彼岸桜の剪定作業を晩冬の2月25日(土)に行いました。東村山市小彼岸桜の会の第2代会長、水谷達夫氏ほか5名の会員の方が駆け付けていただき、当会からは村岡氏と岡田、遅れて友保理事長が参加しました。

植栽した当時は数十センチの若木が今や3メートルを超えるまでに伸長し、その背丈とまた幹の太さが見事に成長したそれぞれの桜木に、わが子のごとくその生育を愛おしみ、励ます言葉をかけながら小さな蕾を持ち始めた21本の小彼岸桜の剪定を行い、切り口には丁寧に融合剤を塗布しました。

植栽以来、毎年2月に剪定活動を続けてきたことで年毎に樹姿が整い、今や剪定箇所も減って短時間で要領よく剪定作業ができるようになりました。

同じ馬頭橋の右岸・上流部に先に植栽された先輩格の34本の河津桜の満開過ぎにこれらの小彼岸桜が開花し始め、また次にソメイヨシノの開花が続くことで、右岸の管理道路際では今や約50日余にわたり三種の桜花を楽しめる話題の散策道になりました。

この小彼岸桜が植栽されたのは平成22年(2010年)3月でした。東村山市小彼岸桜の会の初代会長の橋本一郎様の桜木植栽の申し出があり、北多摩北部建設事務所の承諾を得て、馬頭橋の右岸から下流部に21本の若木を植樹した往時が改めて思い起されます。

当時の私の5年日記の22年度3月28日(日)欄には、「9時に馬頭橋右岸に集合。小彼岸桜の会・会長の橋本様ほか桜の会会員6名、当会4名、小学生など総計14名が植樹祭に参加」と記録されています。なお、その3日前の25日(木)には降雨にも関わらず橋本会長、友保理事長、垂水氏の3名で28日の植樹祭の植栽に資するよう荒れ土に21箇所の穴掘作業をされた経緯があります。小彼岸桜の挿し木技術の研究とその増殖した若木の無償提供による普及活動に情熱を傾けられた橋本一郎様の指導で小彼岸桜を空堀川に植栽して早や7年が経ちました。

今春3月末に日本三大桜名所といわれる長野県の伊那市、高遠城址を訪ねました。橋本会長が東村山市にて独自に難しい挿し木増殖に成功された通称「ヒガシムラヤマコヒガンサクラ」は高遠城趾に植栽されている「タ

カトウコヒガンサクラ」が起源と言われております。

未だ宿泊ホテルの真向いに遠望する南アルプスの山々は冠雪し、ホテルの裏庭の北側には数日前の降雪が残る時節で名所の桜開花には1ヶ月早かったようです。樹齢130年の古木が20本、50年を超えるものが500本強、若木を加えて1,500本を数える桜木が城趾を所狭しと埋め尽くしており、桜花こそ眺められませんでした。桜樹林は絶景を呈していました。また今に残る高遠城の古びた大手門がかつてこの地に在った県立高遠高等学校の正門として使われていた所以の史跡案内標は往時を偲ばせ、歴史を語るに相応しい風景でした。

小彼岸桜の会は、橋本様が3年間の研究開発で完成した「挿し木」の新技術と新剪定方法「フラッシュカット」を伝承すべく多方面で活動を続けています。育成した苗木は、東村山中央公園や市内小中学校、都市計画道路などに広範囲に移植されており、特に東村山駅からスポーツセンターに至る通りの120本の小彼岸桜は周囲の街風景とマッチして東村山市の新名所になったようです。

小彼岸桜の縁で当会の会員にも加入された橋本様は、平成27年12月30日に「客が来店してから鰻を捌く」に徹して45年間経営しておられた川魚専門店「はや幸」を閉店し、所沢に転居されました。店舗のシャッターに掲出された「体力の限界に達し、苦渋の決断をしました・・・」が閉店の挨拶口上であったことを閉店後に知りました。

菊盆栽の会でも多くの弟子を育成された橋本様は平成9年に高遠で求めたたった1本の「タカトウコヒガンサクラ」から、一般的に桜木を増やす接ぎ木ではなく、難しい「挿し木」による増殖法を開発し、全て無償提供で2000本の植栽を目標に活動しておりましたが、後任を引き継いだ水谷会長が昨年秋にそれを達成されたそうです。その内の21本が馬頭橋右岸の下流に向けて植栽したものです。

場所を取らずに、ゆっくり成長する特徴の「小彼岸桜」の植栽をさらに増やし、近い将来にはこの生みの親・橋本一郎様を招いて、名所「空堀川の小彼岸桜通り」を命名できる記念の日が到来することを夢見つつ筆を擱きます。

(平成29年7月1日記)

川のはなし

平田 健一

4. 川の流れを知る方法とは？ (つづき)

(3) 水質の測定項目と方法

水質の基準には、公害対策法に基づく環境基準(地下水・河川水の水質基準:

人が飲んでも大丈夫な水質の基準)と水質汚濁防止法に基づく排水基準(工場などから排水できる限度の基準)がある。

環境基準は、人の健康の保護に関するもの(27項目)と生活環境の保全に関するもの(5項目)がある。人の健康の保護に関するものは、水銀・カドミウム・ヒ素などこれが人体に入ると有害なものである。生活環境の保全に関するものは、(河川の場合10項目 ph, BOD, SS, DO 大腸菌群数, 全亜鉛, ノニルフェニール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸)があり、生活環境を守る指標である。

排水基準は、健康項目27項目と生活環境項目14項目が決められており、工場・下水処理場等から公共水域(河川、湖沼、海洋)に排水する水質基準を定めている。国全体で決めているものと、都道府県あるいはその中でも水系によって基準値が異なるものがある。

温度：温度計(水銀式、アルコール式、水温センサーによるデジタル式)で測る。

下水道の排出基準では、45℃未満となっている。これ以上高温な場合は、放流する前にクーリングタワーなどで温度を下げる必要がある。

Ph: Ph計で測る。最近では、デジタル表示の物が多い。中性がpH=7で、酸性が7未満、7を超える場合アルカリ性である。環境基準では、pH 6.5~8.5、排水基準では5.8~8.6(河川)となっている。

有機的汚染度の指標として、BODとCODがある。水が流れている河川の場合はBODを使用し、滞留する水(海、湖沼)水にはCODを使用する。どちらも、数字が少ないほうがきれいな水である。

BOD(biochemical oxygen demand)：生物化学的酸素要求量 微生物が水の中の有機物を分解するのに必要な酸素の量。有機的な汚染度を示す。通常、測定に5日間かかる。大体5mg/L位よりきれいな水で魚が住める。下水道の放流基準は、20mg/Lとなっている。現在の空堀川は、3mg/L程度で、一番汚染されていた時の1/10程度になっている。

COD(chemical oxygen demand)：化学的酸素要求量 水に過マンガン酸カリウムを混ぜて、30分間で反応する時に消費する酸素の量。これも、一般的に5mg/L程度以下であれば、魚が住めるとされている。BODとCODは、一対一には対応していない。

にごりは、通常透視度又はSSで測定する。かなりきれいな水(川、水道水、下水道の処理後の水など)は、一般的に透視度で測定する。

透視度：水を透明なチューブに入れ、底に二重線で十字を書いておき、どの深さ(cm)まで見えるか?で測定する。数字が大きいほうがきれいな水で

ある。

細菌的汚染度：大腸菌群数、一般細菌群数

大腸菌は、大部分は有害ではないが、くみ取り便所等からもれて水に混入していないかを調べるために用いる。一般細菌群数は、水の中にどの程度細菌がいるかを調べる。どちらも少ないほうがきれいな水である。

EC(electrical conductivity)：電気伝導率計により測る。電気伝導率は、イオンが含まれている量により変わる。ECが高くなると、それだけ汚染されていることになる。雨水で、 $10\sim 30\mu\text{S}/\text{cm}$ 程度、日本の平均的な河川では $110\mu\text{S}/\text{cm}$ 、海水では塩分があるので $45000\mu\text{S}/\text{cm}$ 程度である。空堀川は、 $300\sim 400\mu\text{S}/\text{cm}$ 位のことが多く、それほどきれいとは言えない。

私たちは、毎年6月に「身近な水環境全国一斉調査」として、空堀川でパケットテスト(簡易法)によりPh, COD, $\text{NO}_2\text{-N}$, $\text{NH}_4\text{-N}$ を、透視度、EC、気温、水温と流速・流量を調べている。その結果は、全国的に集計されている。

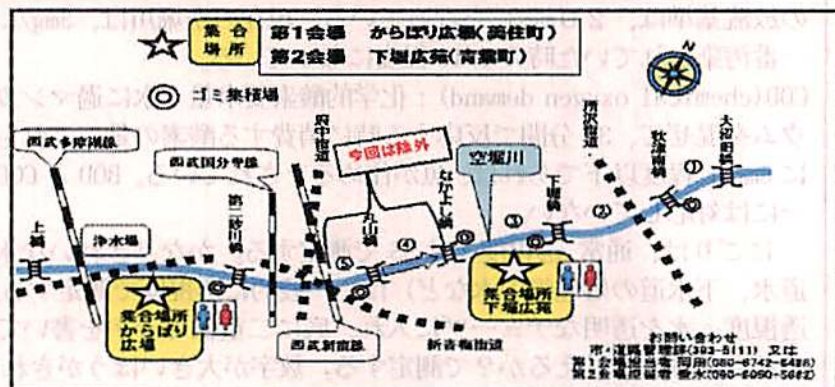
(4) 水の流れの解析方法

現地観測、水利模型、コンピューターを使用する数値シミュレーションなどの方法がある。

第41回 空堀川秋のクリーンアップ!

日時 11月18日(土曜日) 9時～12時

(小雨決行 雨天の場合は翌日19日)



新入会員自己紹介 加賀谷昌毅さん

このたび入会致しました加賀谷昌毅と申します。

昭和50年(1975)より東村山郵便局で16年、武蔵村山局で23年集配業務に携わっておりましたので、富士見町や東大和地区を流れる空堀川は職場の一部であり、その変遷を見守って参りました。

昭和の暴れ川時代や水質改善で水鳥が増えた日々、河川改修が進み親水施設に釣り人や子供たちの姿が見えはじめ、皮肉にも鳥の姿が減少していったこと etc。今は、東村山地区の空堀川遊歩道を秋津方面に向かったり、恩多辻から野火止用水沿いに久米川駅へ歩いたりしております。どちらのコースを選んでも、一杯呑んで電車で帰れます。(笑) 野口町在住30年、どうぞよろしくお願ひ致します。

俳句会とのコラボ

ぶら下がる蛇干潤びし鳴の贅



紀子

川風に芒波立つ武蔵かな



雑木林

江戸川の渡しへ続く野菊かな

案山子

ポストまで朝冷えの橋渡りけり

ぼたん

秋祭阿亀の所作の艶めきて

真

長々と自然薯採りの手柄聞く

緑

鬼胡桃ぼろりと川へ失踪す

喜和

あやとり句会



これまでの経過と今後の予定

(2017/7/8~2017/12/31)

- ◎7/8 第223回定例会
がたろう通信第90号発行
- ◎7/18 川まつり反省会(あづま)
- ◎7/22 東大和クリーンアップ
ライオンズマンション植栽手入れ
ワンドの鯉捕獲、御成橋へ移植
- ◎7/29 東京都公園協会助成金の申請
- ◎8/19 玉川上水シンポジウム(江戸
東京博物館)。
- ◎8/23 下堀広苑芝生手入れ
- ◎8/26 青葉町夏祭り、御成橋ワンド
かいぼり、川床
- ◎9/8 よろず交流会
- ◎9/9 第224回定例会、加賀谷昌毅
氏入会
- ◎9/11 流域連絡会
- ◎9/14 ふれあい広苑芝生手入れ
- ◎9/20 CUふりかえり意見交換会(市
民協働課)
- ◎9/23 ハマナスの種採取(8粒)
- ◎9/25 森永乳業東京多摩工場見学会
- ◎9/28 ホテルの里見学会(東大和)
- ◎9/30 魚捕獲(久米川町長寿を祝う
会の展示用)
- ◎10/10 下堀広苑秋の定例作業
- ◎10/11 ふれあい広苑秋の定例作業
川まつり説明会(東大和中央公民館)
- ◎10/12 ふれあい広苑秋の定例作業
農家の畑除草作業
- ◎10/21 第225回定例会
がたろう通信第91号発行
- 11/7 協働講座(市民協働課
市民センター 13時~)

○11/11 **第3回空堀川公開勉強会**
第226回定例会

○11/18 **第41回空堀川秋のクリーン
アップ**

- 11/20 流域連絡会
- 12/9 第227回定例会
- 12/ 忘年会

会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000円,

年会費 2000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000円

年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) :

個人 年会費 2000円,

団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先:郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

からぼり川

がたろう通信

第 92 号

2018 年 1 月 13 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

新年明けましておめでとうございます

友保邦弘

当会の主要行事の一つ「空堀川クリーンアップ」は平成 9 年 4 月の第一回より昨年 11 月で第 41 回を数えました。その間の参加者は延べ約 2300 名、回収したゴミは 70 リットル袋で約 2000 袋、2t トラック約 10 台分・・・実に驚くべき量でした。そこで年々増えていくゴミの量に対して参加者が増えないという事態を打開するため、多くの団体や市民を巻き込んだ「実行委員会」方式を準備しています。近々にご案内に伺う積りでおりますのでご協力下さいますようお願い致します。



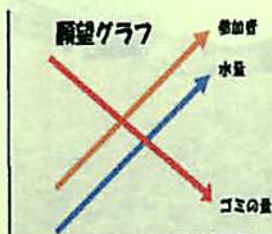
参加者



水量



ゴミの量



空堀川の遊歩道と親水階段 (その一)

原田 秀二

上橋から大沼田橋まで左岸、右岸に沿って「作業管理通路」がありますが、ジョギングや散策、通学路、日光浴を楽しむ人が大勢おり、あえて「遊歩道」と呼びます（一部道路あり）。ただ残念なのは河原へ降りて遊ぶ人は少ないようです。

上橋のすぐ上流左岸に東大和市の「清水富士見緑地」の広い芝生公園があり、隣接して東村山市の「なかよし公園」があり、この辺りは水量もそれなりにあります。

下流へ中橋から右岸を行くと多摩湖線橋梁のため親水階段から河原に降り橋の下をくぐり、狭山緑道に上がり、カワヅザクラ並木の遊歩道へ向かいます。対岸（左岸）はアンダーパスとなっており、馬頭橋手前に河原への幅広い階段があります。

馬頭橋から浄水橋、第二砂川橋まで「こどもの水辺」として親しまれています。浄水場側に桜と小さな芝生のスペースがあり日光浴や談笑をする人たちを見かけます。



またこの河原には初夏にハマナスが咲き、カワセミも飛び交い冬にはカモやコサギなども見られ写真愛好家が集まります。近くにはワンドがありクロメダカ、小エビ、オイカワ、スッポンなどが生息していますが、数が減少しています。

「川まつり」の「からぼり広場」には保育園児や子供連れの家族が憩い、夏には川中の飛び石の周囲で水遊びの姿も見られます。向かい側にはユリノキ広場や会の倉庫があり、親水階段の傍に花壇があり、初夏にはドイツアヤマが咲いています。

馬頭橋から右岸を歩くと橋寄りに二基の親水階段がありますが、利用度は低いようですが、春には河原でヨモギ摘みをする人も見られます。

「第二砂川橋」「前野橋」「国分寺線橋梁」をくぐると府中街道に架かる「野口橋」ですが、この辺りで川の水が無くなります。もちろん降雨や梅雨時などの条件で変化はしますが。

右岸の橋の下手にある夏は木陰を作る小公園に親水階段があります。

「上堀橋」「天王森橋」「久米川橋」を過ぎるとアンダーパスがありますが、右岸側は階段、左岸側はスロープ状になって自転車の通行も出来て天王橋にでます。

空堀川の遊歩道と親水階段（その二）

天王橋の先の左岸に親水階段があり、向かいの歩道側には「思い出広場」があります。落差構を過ぎると高層の都営住宅が見え、本流跡は崖状にえぐられています。

第三天王橋、ふれあい橋、丸山橋の間は私たちの「会」で公苑整備を請け負っている場所です。この「ふれあい公苑」付近で、去年は赤ちゃん産み落としなどがありました。この辺り

セイバンモロコシが密生し、これでヤゴ筏を作りヤンマ系トンボの産卵用に小学校のプールへ入れました。

なかよし橋を過ぎると「文化村公苑」があり、たかの道に架かる御成橋の左岸・両脇に武蔵野線の湧水を排出している箇所が

あり、上手にワンドが在りますが、水を引き入れる土嚢が外されたり、モグラに穴を開けられ水位が低下するなどの問題もあります。このそばに「親水階段」が作られる事になりうれしい限りです。

達麻坂橋、下堀橋、野行前橋までの右岸と下堀公苑は「会」が整備を請け負っています。また対岸の一部をチューリップ畑として許可を得て自主的に管理しています。

野行橋を渡り所沢街道の新空堀橋を過ぎ、栗木橋を渡ると右岸沿いに栗木



橋公園があります。曙橋、大沼田橋に辿り着きますが、ふれあい公苑からこの間に河原に降りられる箇所は在りませんでした。大沼田橋の先の右岸に幅広い階段が新しく再整備されています。青葉町緑道の近くです。この辺りまでが東村山市になります。このすぐ先が清瀬市で、間もなく志木街道に架かる野塩橋です。

全般的に言えることですが、河川敷内の樹木が（多くは桑の木）株立ちの状態、樹形を整え、低い箇所、枝の切り落とし、間隔の狭い樹木の間引きなどが必要と思います。また、家庭、及び商店からと思える汚水流入も対策が必要と考えますし、さらにトイレの増設も大切と思います。

秋のクリーンアップ活動を終え、新たな想いに馳せる

第一会場担当 岡田 一郎

第41回を迎える秋のクリーンアップ活動は事前の降雨予想を覆す曇天の下で行われ、参加者極少ながら当初の計画通りに成果を得て終えることができました。岡田の手元に残る平成18年春からの活動実施記録では、参加者数が最も少ない記録を作りました。

過去には第28回（平成23年4月23日の開催予定日）が降雨のために、翌日の統一地方選挙日に開催した経緯があります。森永乳業様関係の参加者が皆無で、選挙投票後の一般市民7名、会員8名の合計15名参加が最少参加の記録でした。

今回行われた秋のクリーンアップ活動は前日の夕刻に理事長から「当日の午前中は降雨、午後には小止みの天気予報」に因り、午後1時から活動開始の旨の変更連絡がありました。これらの変更理由や当日午後の具体的対応策等を夕刻5時過ぎに第二会場



の関係者にメール等の連絡をして協力を要請しました。またその後、当日の午後開始による森永乳業様関係の参加者極少等が予想されることで、会員は降雨支度を整えての午前9時活動開始の第二弾の急報が伝えられた経緯がありました。当日朝は天気予報に反して降雨は全く無く、集合会場周辺に会このぼり旗や受付コーナーを設置終了した9時過ぎに、初参加の恩多町の男性と美住町の常連参加者の市民2名が受付を済まされました。会員を紹介する簡単な朝礼を行い、上流部担当に原田理事ほか計3名、下流部には会員の小池(久)様

ほか計3名、粗大ゴミ等処理のリヤカー搬送担当に会員の宮崎様と岡田が当たる業務分担を発表して9時半に活動を開始しました。

9時前に分部署理事から鍋ごと届けられた特製トン汁は、予定の午前の収集活動を終えた11時40分過ぎからの昼の休憩時間に美味しくご馳走になりました。

毎回昼の軽食会場として借用している美住町自治会集会所は、翌日の日曜日は既に予約済で利用不可能と伺っていましたので、翌日に順延にならずに実施でき安堵しました。休憩時に参加者皆が膝を交えながら懇談し、初参加の男性には会活動の一端を紹介し、勧誘に資する資料等を配布しました。

活動範囲が広い下流部は、数人の会員がクリーンアップ実施前日に下流部のゴミの事前収集活動を行いました。急速、上流部まで活動範囲を拡大して実施した事前活動が効を奏して、第一会場は極少参加者によるクリーンアップ活動ではありましたが、トイレ前に集荷された多量ゴミの分別作業も昼食後から始めて午後3時前には終了できました。

平生から会員が空堀川界隈のゴミの集荷に努めており、それらをからぼり広場の倉庫裏に集積してきたことで、クリーンアップ活動当日の収集ゴミ量の絶対量が漸減しているようです。クリーンアップの活動はゴミの収集作業自体から数か月間に集積した多量なゴミの分別に作業がシフトされるようになりました。

なお、今回の収集ゴミの最終分別量は以下の通りです。

① 可燃ゴミ：39袋、② 不燃ゴミ：1袋、③ 空き缶：2袋、④ ペットボトル：3袋、⑤ 空き瓶：1/8袋 ⑥ その他粗大ゴミは：台所用ガス台、大カーペット、扇風機、ヘルスメーター、屯袋など16種で約60kg

数十年來、時に口ずさみ、語る「長いみちのりなれど進まなければ到達しない」があります。第一線活動に従事していた30代に某役員から伝聞しました。

11月に当会の長年の懸案事項であった「クリーンアップ実行委員会」（仮称）の設立準備に着手しました。設立の早期実現を図るためには会員が連帯して、時には業務を分担しての両活動が重要です。清流の実現と同時に私たち会員が取り組む優先課題でもあります。

私たちが20年余に亘って継続実施して来たクリーンアップ活動の意義を広く市民に理解浸透させて市民参加型の美化活動の一つとして進展し、「美しい町に、美しい心」が新たな東村山市のミッションにまで高められることを心から願っています。

この「市民一斉美化活動」実現が持続可能な社会を創る大きな一歩になることを信じて歩を進めましょう。

了

第41回空堀川クリーンアップ [第2会場] 垂水荘司

11月18日(第3土曜日)、定例の空堀側クリーンアップの日です。第2会場のクリーンアップの範囲は西武新宿線高架橋(上流)から大沼田橋間(下流)ですが、なかよし橋間まで事前に行われていた為、ここから大沼田橋間が今回の範囲です。

この度は天気予報が二転、三転した為前日の夕方に雨を予想して、18日の実施時間を午前9時から午後1時に変更しました。このため午前9時の段階での参加人数はいつもの1/4程度となりました。一般の人8名、森永乳業様1名、当会7名 計16名でした。早朝から空堀川沿いのフェンス扉の開錠



(13か所程度)を行い、会場の本部にはパーゴラの上部にブルーシートを掛け屋根づくりから始まりです。この下にテーブルを置き記帳用の用紙、トン汁用のガスコンロをセットし雨に備えました。何時もの事ですが、朝の挨拶をして即集合写真を撮りましたが、少人数のため1人1人の姿は大きく映っておりました。9時過ぎには上流、下流2班に分けて作業に入りましたが遊歩道(管理道路)は部分的に工事を行っていた為、大回りをして目的地まで歩き、皆様には大変疲れたことと思います。雨の予想をしていたため多少焦りもありまして、大きなゴミを重点的に拾うように皆様にお願いました。今回は大きなゴミは少なく、何時もよりはゴミの量は少なかった。11時半頃には完了しまして本部会場に用意していたトン汁を皆様に食していただきました。空はどんよりと何時降雨があってもおかしく無い状況でした。一般の方にはトン汁を食して戴いて、お引とり戴きました。今回は2班ともゴミは全て本部(下堀広苑)に集め、多少の小雨の中、森永乳業様1名と当会員5名で分別作業を行いました。

ゴミの種類・量(700/1袋) 燃える 11袋、燃えない 2袋、ビン・缶 2袋、ペットボトル 1袋、その他ビニール傘6本、マットレス1枚、椅子3脚、処理困難物タイヤ4本

上記ゴミは廃棄物減免申請が無いため、後日東村山市道路管理課に回収をお願いしました。また、処理困難物であるタイヤは回収不能のため、椅子3脚も

下堀広苑で使用する為、残置処理となりました。

多少の雨もありましたが、クリーンアップ作業には影響なく終える事が出来ました。

今回のクリーンアップを境に、次回からは「空堀川クリーンアップ実行委員会」を立ち上げて、空堀川の環境美化を目的として都の北多摩北部建設事務所、東村山市、周辺自治会、学校、空堀川の周辺企業、商店などに勧誘していこうと準備をしています。実行委員会の活動で空堀川がより良い環境と、若い人々が参加することで、末永く良好な空堀川の環境維持を目指したいものです。

俳句会とのコラボ



厩道寒の水おく供養塔

あやとり句会



喜和



よちよちと尻もちの子も御慶かな

紀子

早口で春の七草唱和する

緑

初打ちの盤に一石挑戦す

真

目をとめし山地にひそと福寿草

ぼたん

初茜ややの拳の掴むもの

案山子

武蔵野の櫛の空の寒に入る

雑木林



これまでの経過と今後の予定
(2017/9/9～2018/4/14)

- ◎9/9 第224回定例会、加賀谷正毅氏入会
- ◎9/11 流域連絡会
- ◎9/14 ふれあい広苑芝生手入れ
- ◎9/20 CUふりかえり意見交換会
(市民協働課)
- ◎9/25 森永乳業東京多摩工場の見学会
- ◎9/28 ホタルの里見学会(東大和)
- ◎9/30 魚捕獲(久米川町長寿を祝う会の展示用)
- ◎10/10 下堀広苑秋の定例作業
- ◎10/11 ふれあい広苑秋の定例作業
川まつり説明会(東大和中央公民館)
- ◎10/12 ふれあい広苑秋の定例作業
農家の畑除草作業
- ◎10/21 第225回定例会
がたろう通信第91号発行
- ◎11/7 協働講座(市民協働課 市民センター 13時～)
- ◎11/11 第3回空堀川公開勉強会
第226回定例会
- ◎11/18 第41回空堀川秋のクリーンアップ
- ◎11/20 流域連絡会
- ◎11/27 CU実行委員会打ち合わせ
- ◎12/5 忘年会 過去最多19名参加
- ◎12/9 第227回定例会
- ◎12/14 東村山市環境審議会に出席
(当会原田氏)
- ◎12/20 CU実行委員会の打ち合わせ
- ◎12/23 久米川町街角大掃除

- 1/13 第228回定例会
がたろう通信第92号発行
- 2/10 第229回定例会
- 2/ 流連
- 3/10 第230回定例会
- 3/ 流連
- 4/14 第231回定例会
がたろう通信第93号発行

会 員 募 集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。

NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000円,
年会費 2000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000円
年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) :

個人 年会費 2000円,
団体・法人 年会費 10000円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

からぼり

がたろう通

第 93 号

2018年4月28日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町2-19-10

井戸端ワンドのかいぼり(第6回)

NPO 空堀川に清流を取り戻す会

2014年以来、4月3日、第6回目の井戸端ワンドかいぼりです。快晴で6月初旬の陽気の中、一中の科学部と三中の自然探求部合同で行いました。もう6回目で慣れたものです。準備も進行もスムーズでした。

生徒15名。先生3名、釣りのプロ1名、当会会員11名飛び入りでベトナムの日本語学校生徒の女性2名という過去最多の32名参加でした。

NPO birthの事務局長佐藤留美さんも駆けつけてくださいました。他の行事と重なって今回は応援できませんでしたが、また声をかけてください・・・とのこと。

森永乳業さんも平日以外に行う時は参加したいとのこと。大勢の皆様を支えられて「井戸端ワンドのかいぼり」も益々充実して来ました。今後共より有意義なイベントに育ててゆきます。

主な作業

- 開始の挨拶に続いて、作業の手順、注意事項など全般の段取りを説明。
- 周辺の清掃。機材の搬入。新調した揚水ポンプで排水。(5m³を30分)
- 沈めてあった粗朶を除き、丸玉網とたも網で魚や水棲生物を捕獲。
- 水槽に入れて観察。メダカの一部を増殖のため大日向会員が持ち帰り。11時に生徒たちを帰してからヘドロの撤去の後、水を入れて捕獲した魚類を戻した。12時半に



(2)

すべてを完了し、散りかけた桜の元で分支部会員のお膳立てによる反省会を行った。

実施日時：4月3日(火曜日) 10時～12時半

参加人員：32名(過去最多)

気象情報：快晴。気温24℃、水温19℃

9:00～周囲の清掃と排水作業。挨拶、川の解説。

10:00～11:00 生き物捕獲、観察。

11:00～12:30 ヘドロ撤去後片づけ。



評価と反省点

●過去最多の参加者で大盛況
出来れば生徒の希望者全員に
ワンドへ入らせたかった。

(今回は5名のみ)。

●スッポン、イシガメ、ヒキガエル、ミシシippiaカミミガメは居なかった。

●上流50mの未完成ワンドを完成させて交互にかいほりを行いたい。

片方に生き物を避難させれば長期間ワンド底の天日干しが出来る。

種類	数	サイズ(cm)
コイっ子	3	11～19
フナ	5	4～7
オイカワ	7	3～7
モツゴ	10	4～9
クロメダカ	50	1.5～2.5
マドジョウ	4	3～6
スジエビ	100	2～5
ヤゴ(シオカラ)	1	2
ウシガエル	2	22
オタマジャクシ	3	4～4.5
ヤゴ(ヤンマ)	1	2

環境フェア2018に出展

平田健一

東村山市環境・住宅課とごみ減量推進課 主催の環境フェアに出展しました。

東村山市では、毎年6月の環境月間にいきいきプラザで展示を行っていましたが、当会のような環境団体が参加できる場がありませんでした。

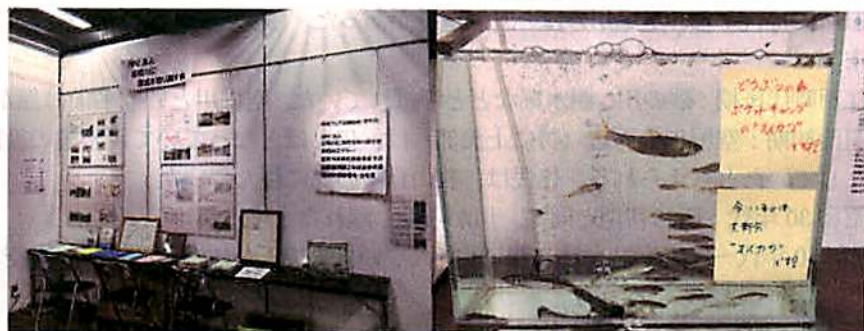
今回、当会と東村山エナジーが、初めて参加して展示しました。おいでになった方々ありがとうございました。

開催日時：2018年1月23日(火)～29日(日) 9:00～16:30

場所：東村山市 中央公民館 展示室

当会は、空堀川の現状と原因・対策、当会の活動についてA1のパネル4枚、空堀川の魚、関係する本・表彰状等を展示しました。

当会会員が当番を決めて、できるだけ誰かいて説明するようにしました。お疲れさまでした。24日からですが28名の方にお名前を書きいただきました。土曜日には、ヒガッシーも来てくれました。



当会の展示

オイカワの展示

今回は、場所が中央公民館ということで、今までとちょっと違う方とお話できたような気がします。「普段 空堀川を流れている水は森永乳業の高度処理水です」と説明するとビックリしている方も多かったです。「この魚は、本当に空堀川の魚ですか？」という質問も多かったです。雪が残る中、魚を取っていただいた友保さん・原田さんありがとうございました。

今回は、私の段取りが悪く申し訳ありませんでした。次回からはもっと大勢の方に来ていただけるようにしたいと思います。

第4回 カラボリ川 公開勉強会を開催しました 平田健一

第4回の公開勉強会を開催しました。市民の方が気軽に参加でき、空堀川のことを知っていただきたいという会です。参加された方々ありがとうございました。

今回のテーマは、「空堀川の水を取り戻すには！」です

約1.2万年前の旧石器時代から現在までの空堀川の歴史を振り返り、空堀川の状況と水がれの原因、取り戻すにはどうしたら良いかを考えました。

開催日時：2018年4月14日(土)

10:00～11:05 空堀川の水がれの原因と対策

11:10～11:50 質疑、意見交換、フリートーキング

開催場所：東村山市地域福祉センター（東村山駅西口より徒歩5分）

参加者：一般市民1名，当会会員13名，合計14名

◆空堀川の水がれの原因と対策

1. 空堀川の概要

武蔵村山市→東大和市→東村山市→清瀬市で柳瀬川に合流。延長約15km、河川勾配約1/200

2. 空堀川の生い立ちと歴史

(4)

旧石器時代から、空堀川のほとりに遺跡があった。(武蔵村山市、東大和市、東村山市)

江戸時代後期：砂の川、悪水堀などと呼ばれていた。空堀川という名前は無かった。

明治初期：空堀川の周辺（特に上流部）は、田んぼとなっていて調整池の役割を果たしていたと考えられる。住民は、狭山丘陵の際に住んでいた。

昭和30年代：明治初期と同様。川から少し離れた土地は桑畑。

昭和40年代～60年代：急激に都市化して、いままで人が住んでいなかった空堀川周辺にも人が住むようになった。

・空堀川の変遷

空堀川の名前は、昭和29年についた。昭和40年、都の管理する一級河川となった。

・空堀川の水質汚染の歴史

H16年までは、BOD 70～40ppm程度、H17年からは10ppm程度、現在は3ppm程度。都内63河川の順位では、S50は63位(ワースト)、H10～16は62位、H19年以降は改善され50～25位。

・流域下水道の整備と水量の激減 (S58～H9)

流域下水道の整備により、水質は良くなったが、水量は激減した。生活用水が全て清瀬水再生センターに送られ、柳瀬川に放流されて空堀川に戻らないためである。普段の主な水源は、東大和市の森永乳業の工場で使用した水を高度浄化したものとなっている。雨水は、以前と同様空堀川に流れるので、雨のときだけ多くの水が流れて洪水になる。

3. 空堀川の現状とその原因

空堀川が河川整備されるにつれて、流れが消えている。現在は、浄水橋（新青梅街道をくぐる）から下流は常時水が無い。御成橋付近のみ、JR武蔵野線の湧水をポンプアップしているので、少し水がある。

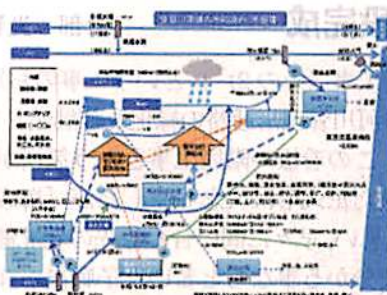
水が流れていれば、ヒートアイランドの緩和になるが、常時水がないと河原がかえって高温になってしまう。魚・鳥は、住めない。また、消火用水として使えない。現在の河川整備のやり方では、人が川に近づけない。多自然川づくりになっていない。膨大な整備費をかけている。河川の氾濫は無くなったが、かえって生活環境を悪化させている。

空堀川の水がれの原因は？

・都市化の進展（昭和40年代～）⇒浸透能が低下し、雨水が直接川に流れるようになり、地下水にならなくなった⇒地下水位が低下し、湧水が無くなった

・流域下水道の整備（S56～H9）⇒空堀川に生活用水が流れなくなった

・河川改修の進展⇒30年以上行っている河川改修のやり方に問題がある



空堀川水がれの具体策 地図



4. 空堀川の水を取り戻すには？

○長期的・本質的には、浸透マス・貯留槽である。東大和市・東村山市・清瀬市には補助制度があり、東村山市は H9 年度から制度はある。最初は 100 件以上申請があったが、H28 年度はたったの 7 件で全く進んでいない。小金井市は、普及率が 50% を超えて今でも湧水がある。

○中期的には、河川改修のやり方を変えて、河床から水が地下に浸透しないように粘土貼りをすること、雨を貯留して雨がやんでから放流することである。

○短期的・緊急策として、別の水源（玉川上水、野火止用水）から水を引いてくること。玉川上水駅のすぐ南には玉川上水、府中街道の九道の辻には野火止用水が流れている。いずれも都道が南北に通っていてここには路面排水の排水管が敷設されている。これに接続すれば、空堀川まで水が流れる。雨が降った時には、排水管があふれないように止めれば大丈夫。

◆質疑応答・意見交換の一部

○効果がでるのは 30～50 年後になります。これは、地下水は非常にゆっくり流れるからです。江東区あたりでは 1970 年台に地盤沈下がひどくて、揚水を禁止しましたが、効果が出たのは 40～50 年後でした。

○浸透マスの効果がでるのは、その下流の市町村です。だから、流域 4 市で手を取りあっていく必要があります。現在、この流域に降った雨は、空堀川に流れて洪水を引き起こしているだけです。かといって、下水道を昔のように各市に設けることは膨大な費用が掛かって不可能です。私たち市民ができることは、家に浸透マス・貯留槽を設置することです。市民へのアピールが必要です。ここまで水がれが進んでしまうと、「当面 他の水源から水を引いてくるしかない」と思っています。ぜひ、皆さんの力を貸してください！！

祝 御成橋親水階段完成

分部 光春

昨年の秋に「空堀川緑化整備工事及び維持工事（その2）」という工事のお知らせ看板が立ち、大沼田橋～なかよし橋までの河川管理用通路の緑化及び舗装、車止め、階段などの工事を始めるとの事でした。この看板の階段工事という箇所が妙に気になり、前理事長小林さんが流連に提案された正式名は失念しましたが「御成橋親水公園」計画の一部親水階段の事ではないかと思ひ、早々に問い合わせ先の北北健に電話をかけたところ、担当係長は出ているが私で分かる事ならと若い女子職員が詳しく教えてくれたのは、やはり御成橋近くにある空き地に管理用道路を迂回させそこに階段を造るとの事でした。それはワンドと合わせた親水公園用の親水階段ですかと問い合わせるとそうは書いてないが、階段をつくる予定でとの事でした。

もしそうならその階段は皆が待ち望んだことですので、看板に大々的に宣伝したらいいのでは？なんてこと言ったんですが職員は快く検討しますとの事でした。数日して都の看板課？そんな課があるかどうかは知りませんが都庁の担当に相談しましたが看板は治せないで私が補足をしましたと電話が有り、早々に確認した処なんとなんと、手造りのラミネートで「親水階段新設工」とあるではありませんか。（その他路面工事の説明も補足あり）昔すぐやる課と言うのが有りましたがビックリする程の速さでありがとうございました。先日のクリーンアップの際、親水階段前で休憩したのですが、皆さんが一様に言われるには親水階段が出来て嬉しいが犬のトリミングや宴会後のゴミなどの問題や、占有してのドッグラン、危険なカイトやゴルフ、今はやりのドローンなど、そしてワンドの危険防止やいたずら防止なども考えて行かなくてはいけないねという話になりました。「仏造って魂入れず」にならない様、素晴らしい親水階段が出来ましたので良い使い方や管理の仕方を行政と協働（すぐやって頂いた若手職員のいる行政ですきっと協働できます）で川の関する一員として協力して行こうと思った、祝「親水階段完成」でした。

付記 総予算1億円弱でしたが、工事の追加や植栽の雪に枯れた補植などの為、数百万の追加があったとか、大雪の前で無く植え付け時期の判断やベビーカーやシニアカーが通り難い凸凹路面など、突っ込み処は沢山ありますが、このような事も事前に流連の会議などで話し合いをして頂きたいと思ひます。前に1年かけて話し合った「理想の空堀川像」を思い出して皆様に愛される空堀川にしたい物ですね。若手職員さんありがとうございました。



第42回 空堀川クリーンアップ

平成30年4月21日 9時～12時 快晴 気温25℃

第一会場	参加者	一般	森永乳業	当会	北北建	合計
		15	21	7		43
	ゴミ	燃やせる	燃やせない	ビン・カン	ペット	
		23	3	1	1	28
	その他のゴミ	布団2、ヘルスメーター1、傘7、水樽1、ヘルメット2、 収納ブラケース4、段ボール、靴4、鉄くず5kg				
	処理困難物					

第二会場	参加者	一般	森永乳業	当会	北北建	合計
		19	24	9	3	55
	ゴミ	燃やせる	燃やせない	ビン・カン	ペット	
		32	6	4	3	45
	その他のゴミ	傘3、金属棒5、自転車リム1、				
	処理困難物	バッテリー1				

参加者総計 98名 ゴミ総計 73袋

特記事項

第一会場

- 上流と下流の2カ所に分けて実施。
- 親子参加が4組。大量の発泡スチロールお椀あり(約150個)
- 集会所が使えなかったため屋外でトン汁。
- 新入見込みの会員が2名。実行委員会方式のPRでの参加は1名。

第二会場

- 天王橋～なかよし橋は前日に実施。当日は3カ所に分けて実施。
- 児童発達支援保育所の所員2名と児童6名が初参加。
- 実行委員会方式のPRでの参加は3名。
- 立て看板設置に便乗しての不法投棄が見られた。



本日の分別ゴミ



本日の分別作業



第一会場集合写真



第二会場集合写真

これまでの経過と今後の予定
(2018/1/13～2018/7/14)

- ◎1/13 第 228 回定例会
がたろう通信第 92 号発行
CU 実行委員会打ち合わせ
- ◎1/20 環境フェア@中央公民館
- ◎2/2 流域連絡会
- ◎2/10 第 229 回定例会
- ◎2/15 環境審議会
- ◎2/21 空堀川源流探索会
- ◎2/22 東村山浄水場(CU 実行委員会 PR)
- ◎3/6 みどり公園課見積書提出
- ◎3/10 第 230 回定例会
- ◎3/15 多摩六都用魚の捕獲
- ◎3/17 多摩六都展示会
- ◎4/ 3 第 6 回井戸端ワンドかいぼり
- ◎4/13 空堀川 CU 実行委員会
- ◎4/14 第 231 回定例会
公開勉強会 CU 看板
多摩六都講演会
- ◎4/20 事前 CU 午後 1 時 天王橋
- ◎4/21 第 42 回空堀川クリーンアップ
- ◎4/26 流域連絡会
- ◎4/28 がたろう通信第 93 号発行
鯉のぼり掲揚 (10 時～)
- 5/12 第 19 回定期総会
第 232 回定例会
- 5/27 第 20 回空堀川・川まつり



- 6/ 春の公園定例作業
- 6/9 第 233 回定例会
- 6/ 流連
- 7/ 暑気払い
- 7/14 第 234 回定例会
がたろう通信第 94 号発行

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

俳句会とのコラボ

大屋根を連ねし酒蔵初燕	川風や若草色の春コート	花は葉に寄りそひ傾ぐ夫婦仏	花水木下を水色ランドセル	轍立つ跡継ぎのある安堵かな	薫風や森林浴にどつぷりと	空を切るスイングの音夏近し
喜和	雑木林	紀子	緑	真	ぼたん	案山子

あやとり句会

からぼり川

がたろう通信

第 94 号

2018年7月28日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

第20回「空堀川・川まつり」で初の「記念抽選会」を実施

第一会場報告者

岡田 一郎



第20回「空堀川・川まつり」は初夏を思わせる5月27日に行われました。蛇行していた浄水橋から天王橋に至る流域を改修して、平成11年5月に新たな河川に通水したことを祝って北多摩北部建設事務所の主導で東村山市が協同し、流域市民に呼びかけて「通水まつり」を行ったのが今日の「空堀川・川まつり」の始まりです。この、「空堀川・川まつり」も20回の開催となり、記念する初の試みとして「記念抽選会」を実施しました。川まつりに来場されたご家族を単位に投票する「川まつり記念抽選券」を配布、投票して頂き選ばれた特等から四等までの当選者総計27家族様に記念の賞品を送らせて頂きました。投票総数は323票でした。抽選は、特賞1本(変速付自転車)、一等賞1本(自転車)の2本については市役所の河川課新任課長の谷伸也様に、二等賞から四等賞(計25本)の抽選は当会の友保理事長が行いました。

数百人が見守る炎天下の本部前抽選会場は当選者氏名を紹介する度に悲喜こもごもの歓声が上がりましたが、熱中症回避を呼び掛ける会場アナウンスにも力が入りました。特に特等の変速自転車および老等の自転車に当選した美住町2丁目居住のご主婦お二人の歓喜と感謝の声は会場広場に大きく響き渡りました。なお、二等賞5本(黒焼きそば)、四等賞10本(唐揚げ券)等は出店者様からの支援を頂いた商品でした。なお、当選者27家族の皆様は美住町、久米川町、本町、青葉町、栄町、恩田町の6町で約8割を占め、また3人以上の家族揃っての参加者が約5割を占めました。これは、市民の皆様イベントとして成長させて頂いたと、実感できるものと考えます。そして、春と秋に20年続けている活動「空堀川クリーンアップ作戦：川の清掃美化活動」をさらに広く市民参加の美化活動に拡充するために「空堀川クリーンアップ実行委員会」を立ち上げることとさせて頂きました。是非これについても、協働活動やご支援を頂きますようお願い申し上げます。

今や、多くの市民から待ち焦がられている元気に100匹に近い鯉のぼりが泳ぐ紺碧空の下、空堀川「子供の水辺」わくわく広場中心に、遠方から川まつりに参加する多くの市民と楽しく交流し、充実した一日を活動していただくことを期待しております。

川まつり 第二会場報告 第二会場報告者 分部光春

川まつり 第二会場(防災ゾーン)は3年前より、カヌー乗り場が本会場より遠くて人が来ないよ〜と担当者が寂しがっていたので、人寄せパンダ的に始まったイベントです。カヌーの乗り場は川遊びの安全教室に、バザー会場で行っていた防災支援ボランティアの救急救命講習と、新規に災害救助犬の訓練展示それにヤマザキパンや森永乳業、中央青果、市防災課、社協協力委員会のご協力で緊急食糧配布訓練を行いました。昨年は美住第二防災隊や市役所協働課のご協力で、防災隊の放水訓練が加わり、今年は避難所訓練として食糧配布と慰問団(青葉パーパーズ、まちジャム)のコンサートを行い、さらに念願のワンドのガサガサを行いました。今年の延べ参加人数は800人位で市内で行われている防災訓練としては一般参加者が最高的人数だと思います。(市役所防災課の弁)

空堀川に水が有ったら、魚や生き物が沢山いるよ(ワンドのガサガサ)川遊びは



ルールを守って（カヌー安全教室）、河川は消防水利だよ（防災隊放水訓練）そして万が一の場合は（救急救命、避難所訓練）と行政からでなく、市民の方からその時に何が出来るか？その時の啓発キャンペーンとしてこれからもやって行きたいと思います。訓練後に熊本地震や先日は西日本の豪雨災害が有たり2年前の柳瀬川の氾濫も他人ごとではありません。空堀川にあまり水が有りませんが、現状の水を大切に、万が一の大雨にも備えなくてははいけません。第二会場のイベントが空堀川に清流をとの啓発と河川防災の啓発にならん事を祈念して、これからも皆様と頑張りたいと思います。

後日談 水害の避難所の「嵐」や「スポットクーラー」にはかなわないけどバラバラの慰問も良いよねと青葉町のお姉さん。大人気のワンドの魚とりは生き物観察にしようね～なんて来年のイベントが企画中です。

南台小学校 3年生総合学習（ヤゴ救出作戦） 分部光春

恒例の南台小学校の「ヤゴ救出作戦」が5月29日に行われました。今年は授業時間の関係で、1時間とチョット短い時間でしたが、子供たちは事前の学習も、シッカリ済んでおり、ギンヤンマ、シオカラ、アカネ系、変態、羽化なんて単語も十分理解済でしたので、トンボの勉強は少なめ、救出方法やヤゴさんを大事に扱おう（生き物愛護精神）などの徹底をして、数でなく生き物観察中心の、救出作戦の始まり始まり。今年は昨年入れたヤゴ筏が大活躍でヤンマのヤゴが大繁殖で262頭とビックリです。反対にアカネ系やシオカラ系は69頭と12頭と信じられないような集計となりました。救出隊員が大物ばかり狙っていたという部分を差し引きしても、ヤンマの数が増えたのはヤゴ筏を入れたから、アカネ系が少ないのは大型のヤンマのヤゴに捕食されてしまったからで、恐るべし食物連鎖です。この結果はトンボの産卵方法にあるようで、空中で産卵できるアカネ系やシオカラなどはヤゴ筏がなくても産卵可能だが、大型のヤンマ系はつかまりドコが無いとだめと言う事の様です。来年は事前にこの件を勉強したいと思います。

ヤゴ救出作戦にご協力頂いた会員の皆様お疲れ様でした。子供たちの尊敬の眼差しが来年もいただけるように頑張ろうではありませんか、宜しくお願いします。追伸 15日後簡易ヤゴ飼育セットでギンヤンマの羽化が観察できました。



身近な水環境の全国一斉調査を行いました 平田 健一

全国一斉調査の一環として、東村山市内の空堀川7ヶ所で水質・水量の調査を行いました

調査方法 2018年 6月2日(土) 15:00~17:00 友保さん、岡田さん、原田さんと私の4名で行いました。調査は、東大和市境の上橋・浄水橋・なかよし橋・御成橋・野行前橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋に御成橋のJR武蔵野線の湧水を追加しました。pH, COD, NO₂-N, NH₄-Nは、パックテストで行いました。

調査結果 調査は市内7ヶ所ですが、そのうち水があったのは3ヶ所だけで、残りの4ヶ所は昨年同様 川には水がありませんでした。2014年は4日連続で雨が降り7ヶ所測れましたが、2015年以降この状況が続いています。水量が測れた3ヶ所も今年は水量が非常に少なく、水量を測る水路を作ってやっと測れました。上橋、浄水橋の水量は、昨年の約1/10に減っています。透視度は、良くなったり悪くなったりです。今年は、上橋・浄水橋の電気伝導率ECが異常なほど高いです。これは、イオンの量を示すもので、汚染が進んでいることを示します。水量が激減していることが原因ではないでしょうか？

- ・洪水時の計画流量は、150m³/s(50mm/時間のとき)です。平水時の流量は、これの1/10,000以下しかありません。ある程度は中小都市河川の宿命とはいえ、ひどすぎます。

- ・特に上橋、浄水橋の流量の減少は、昨年の1/10以下です。からぼり広場から下流は、普段 水が流れていません。

- ・御成橋には、JR武蔵野線からの地下湧水が流入しています。600~2000m³/日(JR東日本調べ) 今年も、なんとか流量が測れました。しかし、次の達磨坂橋に行く前に水がありません。

まとめ 空堀川は、東村山市内約6kmの内 1km程しか水が流れていません。魚は、上橋にオイカワがいました。浄水橋では、魚とりをしていた子どもたちが友保さんの指導でドジョウ、ヌマエビ？を捕りました。アメンボもいました。御成橋では、子どもがわずかな水の中、魚を獲ろうとしていましたが、何にも捕れません。以前は、御成橋の上下流にはいたのですが。鳥は、大沼田橋下流の水たまりにカルガモが2羽見かけただけです。よく見たコサギもいませんでした。

調査を終わっても、4人で「あーあ」とため息しか出ません。この会が始まった水質が都内ワースト1だった頃、調査をされた方々は「いつになったら、空堀川の水質が良くなるんだろう？」と思われていたのでしょうか？このデータは、新河岸川流域全体としてまとめられます。調査をしないと、空堀川に水がないというデータも無くなってしまいますので、今後も調査は続けていきたいと思えます。将来、「空堀川ってこんなに水が無い時があったんだね。」と言えるようになりたいです。

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化

(5)

項目	年	気温 (°C)	水温 (°C)	pH	EC (μS/cm)	GOD (mg/L)	NO ₂ -N (mg/L)	NH ₄ -N (mg/L)	透明度 (cm)	流速 (m/s)	流れ幅 (m)	平均水深 (m)	流量 (m ³ /s)
御成橋 下	2018年	24.4	20.8	8.0	395	2.0	0.005	0.2	120	0.36	2.5	0.04	0.03
	2017年	23.3	20.6	9.0	388	2.0	0.005	0.2	107	0	0	0	0
	2016年	19.1	18.9	8.5	故障	2.0	0.02	0.2	96	0.1	0.6	0.06	0.004
	2015年	25.9	19.6	7.0	148	0.7	0.005	0.2	115	0.3	5.0	0.15	0.23
浄水橋 下	2018年	28.8	28.1	9.0	1064	4.0	0.005	0.2	88	0.31	0.4	0.03	0.004
	2017年	27.3	23.9	9.5	218	5.0	0.005	0.3	130	0.083	6.0	0.105	0.053
	2016年	21.9	21.5	9.0	故障	6.0	0.1	0.2	91	0.4	2.4	0.15	0.140
	2015年	25.7	27.4	9.0	144	2.3	0.005	0.2	65	0.7	3.3	0.15	0.35
上橋 下	2018年	28.8	29.8	9.5	1753	5.3	0.005	0.2	85	0.14	1.2	0.1	0.017
	2017年	26.4	24.5	9.0	202	6.7	0.005	0.2	88.5	0.42	2.7	0.09	0.10
	2016年	22.8	21.5	9.5	故障	5.3	0.2	0.2	90	0.2	1.7	0.24	0.08
	2015年	25.9	29.2	9.5	312	3.7	0.005	0.2	73	0.41	4.2	0.22	0.39

下堀&ふれあい広苑の芝・植えこみ整備 (H30 年上期)

原田 秀二

今回の広苑整備は二週に分け、6月 8,9日 15,16日の金、土曜日の四日間で行われた。6月8日、下堀広苑・下流側の広苑を中心に12人で整備を開始した。曇り空で蒸し暑い中だが、流石にこれだけの人数で作業をするとはかどる。広苑の片隅で熟成させた堆肥を周囲の生け垣の根元に施肥をする。この後へ刈り取った草などを持ち込みリサイクル・再生肥料にする事で大変ではあるが、環境に優しい方策にした。堆肥に向かない樹木の枝などは後日、焼却場で処分をするよう考えています。明日(6/9)は定例会議のため、作業は午後からとなるので青葉通りを挟んだ上流側の広苑もできるだけ作業を進めることにする。三時過ぎに近所の年配男性にエンジンの音が「うるさくて寝れないだろ。草が生えないよう、除草剤を撒け」と言われ、理事長と二人で対応し、お引き取り願った。また「ありがとう、暑いのにご苦労様」と言ってこられる同年輩の男性もいた。

9日は定例会の後、一時から10人での作業である。昨日の作業で大分進んでおり何とか早めに作業終了の目途がつき、下堀広苑向かいにある管理通路脇のチューリップ畑を除草することもできた。

ふれあい広苑の作業は1週間後の6月15日、9名で霧雨の降る蒸し暑い中、左岸の通学路側を早めに作業を終えようと、今回も植込みの蔓をむしり取る処から入り、その後にヘッジトリマー、刈り払い機を掛ける。昼近くに雨も小雨ながら降りしきり、午前中で刈り取りの物を片付け終了する。今回持ち込んだ二つの90Lの伸縮布バケツ、折畳みカートは高齢者の多い私たちには心強い味方になってくれた。

16日、11名で降雨の心配は少ないが蒸し暑さは変わらず、小学校並みに45分作業、15分休憩で熱中症に注意する。昨日刈り取りの積み残しを、ふれあい広苑でも環境に優しいリサイクル・再生肥料場所に持ち込み整理する。お昼少しすぎには刈込も終わり広苑整備は終了した。

今回の広苑整備で大活躍の新会員の関岡氏、会員候補の高橋氏の活躍が大きくなりました。午後からは、有志7名で浄水橋上流の堆肥小屋と井戸端周りの生け垣の刈込、堆肥小屋内のチッパー、道具類の整備、つる草・雑草の刈り取りなど堆肥として積み込んだ。途中小池さん巣作りしていたアシナガバチに腕を刺されるハプニングもあった。

今回、多くの会員の協力が得られ、事故もなくスムーズに作業が運んだ事を感謝いたします。

平成29年度第19回 定期総会について 垂水荘司

平成30年5月12日(土) 午前10時～11時15分、東村山市地域福祉センター 第2会議室で開催された。

会員総数37名中出席者17名、委任状提出者15名、合計32名で総会の開催要件を満たしており総会は成立。

司会、議長、書記、議事録署名人(2名)が選任され総会は進行、第1号議案平成29年度事業報告及び収支決算報告の承認を求める件、第2号議案平成29年度会計監査報告の承認を求める件、第3号議案平成30年度事業計画(案)の承認を求める件の3議案が討議された。

事業報告の中で一部修正事項があり、また、会計報告の中でも一部字句の修正と、事業の実施に関する事項の差し替えがあった。次回からは十分吟味した報告が必要との意見を付し、第1号議案、第2号議案は会計監査の報告と共に承認された。第3号議案も承認はされたが、平成30年度の事業計画では20周年記念時事業を行うとして、記念冊子の発行とあるが予算の計上がなく、理事会での協議不足を指摘され理事会の機能を発揮することが求められた。

俳句会とのコラボ



昼寝覚業缶の滾る音消ゆる

ぼたん

夏空に白き三日月真昼かな

真

涼しさをせせらぎの音に貰ひ受く

緑

夕風にふはりふはりと酔芙蓉

紀子

空堀の川慰むる雲の峰

雑木林

助手席の窓へ大足三尺寝

案山子

星涼しオーロラの尾を探す旅

喜和

あやとり句会

これまでの経過と今後の予定
(2018/5/12~2018/10/13)

- ◎5/12 第19回定期総会
第232回定例会
- ◎5/17 川まつり事項委員会
- ◎5/24 多摩六都東村山祭り
- ◎5/27 第20回空堀川・川まつり
- ◎5/29 南台小学校 ヤゴ救出作戦
- ◎6/2 水質検査
- ◎6/7 定例作業用道具点検
- ◎6/8 春の定例作業(下堀広苑)
- ◎6/9 "
- ◎6/9 第233回定例会
- ◎6/15 春の定例作業(ふれあい広苑)
- ◎6/16 堆肥置き場の手入れ
- ◎6/25 河川敷草刈り立会い
- ◎6/26 流域連絡会
- ◎7/14 第234回定例会
30年度第1回理事会
- ◎7/21 東大和クリーンアップ
- ◎7/28 がたろう通信第94号発行
- 7/31 東京の川を考えるシンポ
- 8/ 夏の定例作業
- 8/24 流連
- 8/25 御成橋ワンドのカイボリ
川床、青葉町祭り
- 9/8 第235回定例会
- 9/ 流連
- 10/ 秋の定例作業
- 10/13 第5回公開勉強会
第236回定例会
東大和川まつり
がたろう通信第94号発行

会 員 募 集

◎会費は次の通りです。

個人の場合 :

入会金 2000円,
年会費 2000円

団体・法人の場合 :

入会金 一口 10000円
年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) :

個人 年会費 2000円,
団体・法人 年会費 10000円

◎お問い合わせは下記まで。

東村山市萩山町2-19-10
友保(ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

新入会員自己紹介 小川恭子

美住町に住んで22年たち、今回の空堀川・川まつりに初めて参加しました。こんなに近くで賑やかなお祭りがあったのに驚きました。そして、雨の日以外は水が流れないと思っていた空堀川で、カヌー体験しているのにもびっくりでした。自然豊かなところで育ったものですから、空堀川に清流を取り戻す会の取り組みが、気になり入会させていただきました。特に、ヤゴ救出作戦が楽しそうで、来年は参加させていただきたいと思っています。私の両親の出身地、岡山・広島で起きた水害で、水は、癒しにもなるが脅威にもなると感じました。上手に共存できるとよいのでしょうか。今後とも宜しく願い致します。

からぼり川

がたろう通信

第 95 号

2018 年 10 月 20 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

錦鯉の運搬作戦

友保 邦弘



市内美住町在住の M さんから自宅の庭の池を潰すことにしたので錦鯉と金魚を処分してもらいたいとの依頼がありました。

この種の話は結構あるらしく、ペットなどの生き物を処分する会社があるようですが思いのほか費用が高い。長年大事に世話をしてきた魚を処分するに忍びないというので当会が総合学習の支援を行っている市内の小学校の池に移送することになり 9 月 21 日に実施した。

体長 70 cm の大物が 4 尾と 30cm の金魚が 6 尾。厚手の大きなビニール袋に酸素発生石とエアープンプを入れ、袋ごと衣装ケースに入れて安定させて軽トラで運びました。学校では先生方や生徒たちが大喜び。水循環ポンプもセットしてこの移送作戦は大成功のうちに終わりました。当会の会員たちも貴重な体験に取り組んで大満足のイベントでした。

夏の広苑除草作業

原田 秀二

梅雨明けが気象観測史上初めて六月となり、それ以降は蒸し暑さと酷暑の続く今年の夏でした。

毎年「青葉町まつり」に合わせて夏の定例作業である8月17日は、前日とは打って変わり涼しい風が強く吹き、私たちの作業にとっては都合の良い天候に変わりました。

今日は下堀広苑の除草です。参加メンバーは午前中のみ参加を含め8名で行いました。

恒例の理事長の挨拶・ラジオ体操の後、45分作業・15分休憩を基本に、涼しい風が吹いているとは言え、そこは真夏のこと、水分、塩分補給に気を付け作業を進めます。

春の定例作業からそれ程期間はたっていないと思ったが雑草の勢いは衰えず、まさに雑草魂を感じさせるものです。

昼食後も作業を続け、折畳み型大型布バケツと折畳み運搬車が活躍して作業も順調に進みました。最後のプロワー掛けも必要無いような強風も吹き、早めに作業も仕上がりました。

残った時間で対岸の管理道路にある当会管理の「チューリップ畑」も除草・整備も出来ました。

明けて18日はふれあい広苑の除草・整備ですが、風もおさまり好天ながら湿度も少なく今日も作業日和のなか9名で作業を始めました。

作業範囲も右岸の広場を中心に行われ、お昼時に食い込みましたが、少し長めの半日作業で終了しました。気になっていた枯れたヤマボウシの木は幹の途中で切り取りました。その後、数名で「ゆりのき広場」倉庫内の整理と周辺の除草を行いました。

17日は青葉町のA様より栄養ドリンクを頂いたり、18日はご近所の方よりアイスクリームを頂き、茗荷のお土産まで頂きました。普段から皆様が広苑近隣の方々と笑顔で挨拶、気持ちよく声掛けをして交流しているからと思います。

また作業中、はずみで会員の自転車のタイヤを傷つけた件は会費よりお支払いさせて頂きました。

二日間を通じて怪我、体調を崩された方もなく無事に作業を終えたのも皆様のご協力のおかげと思います。

小鳥のエサ台設置 - ふれあい広苑



8月22日にヤマボウシの切り株に植木鉢の9号プラ受け皿を「小鳥のエサ台」として取り付けました。中に板を入れ木ネジ止め、水抜き穴を開け、お皿の周りに当会の名前を貼り付け、幹には板にペンキで「小鳥のエサ台」の札を取り付けてあります。

8月下旬の増水時に溜まった、ハマナス畑、浄水橋ワンドの枯草除去、オオブタクサ刈り取り、堆肥置き場内整理、除草などを9/19に行いました。ご協力の皆様、ありがとうございます。ご苦労様でした。

空堀メダカ飼育中♪

小川 恭子

空堀川で、子供たちがすくったメダカを分けてもらいました。自宅で観察しはじめると、ヒレを見てつがいと判明しました。(写真)

2日目には、卵を産み始め、一週間ほどで孵化し、子メダカ誕生しました。今では、30匹の子育て中！



御成橋ワンドのカイボリと川床遊び

分部 光春

8月25日御成橋ワンドの観察会と川床遊びが行われました。



今回は多くの子供達の参加であったという間にかいぼりは完了！



アリアケギバチ発見！！

アリアケギバチ (./Internal1424)

Tachysurus aurantiacus (Temminck and Schlegel, 1846)



(fish/waf12294)

形態・特徴 口部は合わせて3本あり、大きな魚鱗を持つ。産卵後卵の切れ込みは浅く、背鰭軟条数は19〜21本であることなどが特徴。

分布 日本の固有種で、よく似たアリアとは分布域が異なり、九州西部・長崎県布津に分布する。河川中流の流石の岩や石の下、砂泥底の水底に生息する。

友保理事長の投網の実演もあり、続いて河原のガサガサに突入すると、子供たちが大騒ぎ！なんとナマズの稚魚がいっぱい捕れるんです。そこでネットで調べるとビックリで東南アジアの原産で福岡地区の固有種とされている、アリアケギバチの様です。熱帯魚店で千円ぐらいで取引されているナマズの仲間です。何者かの不法放流で空堀川で繁殖してしまったモノと思われます。これには困った物です。これでは空堀川も多摩川と同様タマゾン川化してしまいます。御成橋付近は武蔵野線の湧水で、冬でも暖かく熱帯魚でも、越冬が可能なのかとか、貴重な空堀メダカの生息も確認されていて、さてさてどうした物か？

お昼の川床遊びの話題はこれでもちきりでした。子ども達が言うには2〜3年前より「ナマズ！ナマズ！」と言ってオイカワに交じって、獲れていたとか。気づかなかった川の会の会員は猛反省です。やっぱり川ガキ（がたろう）にはかないません。



第5回空堀川公開勉強会

分部 光春

10月13日(土)に福祉センターで「第5回 空堀川公開勉強会」が社協の福祉協力員会と協働で開催されました。

今回の公開勉強会は今迄の講座型の勉強会で無く、市民の皆様と空堀川の関心事に対し意見交換するという対話型の勉強会と言う事で行いました。

また行政や特定団体、個人に物申すと言うような会でなく、河川管理者の東京都や市に対して流域連絡会や市議会などのしかるべき機関の代弁者(流域連絡会委員、市議会議員)を通じ行政に参加すると言うチョット欲張りな勉強会を目指しました。

市報に掲載されたせいか、今までになく一般市民の方の参加が多く、35部用意した資料が足りなくなるほどの盛況でした。

☆一般参加者12人、社協関係者15人、NPO17人、アンケート回収10枚☆



○2年前の柳瀬川氾濫の際の支援活動で活躍した、秋津町福祉協力員会の皆様の活動には感心させられました。万が一の際、防災課に連絡しても手一杯で対応出来ない時に民生委員を通じ橋本地区長にすぐ連絡が有り、近くの会員で救援をしたとの報告に組織としてしっかりしているなど感心しました。

○友保理事長の河床草木維持管理規定の説明と、9月より河床内の桑の木を規定に従い伐採が始まったとの説明に、参加者より安堵の声が上がりました。

○原田理事の桑の木の伐採実験の発表では、伐採してもひこばえが出て2~3年後には又、元の木阿弥となるが、根っこから除去するのも大変だとのこと。これは是非、流域連絡会に上げて頂き、対策をご相談頂きたい事案です。



○パワーポイントを使用した平田理事の空堀川の話では、流連で1年間もんだ理想の空堀川の話まで時間の関係で行けず、ちょっと残念でした。

○最後の感動のフィナーレは、翌日の総合防災訓練のために充分協力できないと、市役所防災課より差し入れの備蓄食料1缶(36日分入り)をかけたじゃんけん大会を実施!大いに盛り上がりました。

○メダカやエビの展示に、

「ほんとに空堀川にいるの?」と感心
 していられた二人づれのご婦人。

「今度は孫も連れて来るわよ!」

とニコニコ。(写真⇒)

次回はアリアケギバチやメダカの件、
 そして植生の勉強もしたいですね。
 皆様、ご参加ありがとうございました。
 協働の社協の皆様や川の会の皆様ご協
 力ありがとうございました。情報提供

でご協力頂いた北北建の皆さまと備蓄食料提供の防災課の皆様も本当に、ありが
 とうございました。次回もよろしくお願ひします。



◆◆◆ 新入会員自己紹介 ◆◆◆

関岡 幸夫

水の無い川を見ながら都内通勤をして20年、「何か変な川…」
 と思いつつ時が過ぎました。

退職を機に柳瀬川との合流点から、空堀橋梁辺りまで思い付くまま歩いて
 ビックリ。

大小の石がゴロゴロ。まるで「賽の河原」?
 水を塞ぎ止めて作られた「釣り堀」?らしき跡や、
 無惨な姿をさらけ出した「防火ピット」…など
 空堀川の行末を案じさせる衝撃の一日でした。

川を見る度にこのままではいけない!自分に何かできないかと考えて
 いたとき、会のポスターをみて私は心を動かされました。

定例会の見学や草刈りの手伝い等をさせていただきました。

まだ、二回の経験にすぎず、なにもわからない私ではありますが、皆様に会
 の一員として迎えていただきありがたいと思っております。

「空堀川と共に」をモットーにしてがんばります。

今しばらく手取り足取りのほどお願い致します。

これまでの経過と今後の予定
(2018/8/17~2019/1/12)

- ◎ 8/17 夏の定例作業 (下堀広苑)
- ◎ 8/18 夏の定例作業 (ふれあい広苑)
- ◎ 8/24 流域連絡会
- ◎ 8/25 御成橋ワンドのカイボリ
川床、青葉町祭り
- ◎ 9/ 8 第 235 回定例会
- ◎ 9/19 倉庫、ワンド、堆肥場の整理
- ◎ 9/21 錦鯉の運搬作戦。ヤゴ筏設置
- ◎ 9/26 森永乳業工場見学
- ◎ 10/2 会報編集会議
- ◎ 10/13 第 236 回定例会
第 5 回空堀川公開勉強会
ひがしやまと空堀川・川まつり
- ◎ 10/20 がたろう通信第 95 号発行
- 10/ 流連
- 10/22~秋の定例作業
- 11/10 第 237 回定例会
事前 CU
- 11/17 第 43 回秋の空堀川クリーン
アップ
- 12/ 8 第 238 回定例会
- 12/ 流連
- 12/ 忘年会
- 1/12 第 239 回定例会
がたろう通信第 96 号発行



会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

俳句会とのコラボ

いたづらに鳥の引き抜き屋根の萱	喜和	草の穂に小雨とどめて光りけり	ぼたん	赤い羽根小舟に乗りて島々へ	案山子	国境の大河を越ゆる秋の声	雉木林	長竿の撓りゆるやか秋の鮎	紀子	直売の旗高々と柿の里	澄	長生きを愛でつ初物柿を剥く	緑	倒木の紅葉地に染む丘の上	真
-----------------	----	----------------	-----	---------------	-----	--------------	-----	--------------	----	------------	---	---------------	---	--------------	---

あやとり句会

からぼり川

がたろう通信

第 96 号

2019年1月19日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

平成の総括と新時代への期待

友保 邦弘

新年明けましておめでとうございます。

当会は平成12年にNPO法人になってから来年で19年になります。会員、会友の皆様を支えられて、毎月第2土曜日に開催する定例会も239回を教え、主な活動である空堀川クリーンアップは43回、川まつりは20回、そして会報「からぼり川」は今号で第96号の発行となりました。

さて、平成時代を顧みれば雲仙普賢岳の噴火に始まり北海道胆振東部地震に至る甚大な自然災害、また、政界、経済界、学界、スポーツ界など各方面における忌まわしい不祥事の数々。残念なことではありますが、極論すれば「平成は災害と不祥事の時代」と言えます。

新年号の時代に期待するものは何でしょうか？意外に聞こえるかもしれませんが実は日本は「資源大国」です。有能な人材、豊かな森林、豊饒な農地と海域、そして天からの贈り物「雨」です。

この雨を地中に浸透させ、洪水を防ぎ、地下水を涵養して湧水を復活させ、我が空堀川に清流を取り戻すことが出来れば東村山のみならず大東京の宝物となるのです。

空堀川に関わるすべての皆様の絶大なるご支援をお願いいたします。



雨の後の空堀川 浄水橋下流

第43回空堀川クリーンアップ開催

11月17日(土)

岡田 一郎

晩秋とはいえ、朝から快晴で清涼な空気が漂う中、開催されました。



当会会員は8時に倉庫前に集合し、それぞれにからぼり広場周辺へのぼり旗の掲揚、ゴミ拾い用具の陳列、受付コーナー設営等にあたりました。早朝から大勢で参加された森永乳業社様からは各種ジュースを提供いただきました。

9時の岡田の開会挨拶と活動要領の説明に続いて会員9名が自己紹介を行い、また平田理事が周辺の放射能測定結果と現在の河川環境の安全性を紹介しました。

参加者総勢をからぼり広場の「上流組」と「下流組」担当に二分して、上流組リーダーには小池(久)会員が、下流組リーダーには荒川会員が担当し、リヤカーによる集積ゴミ搬送を若手の森永乳業社の3名と岡田が、また連絡係は平田理事が担う作業分担で活動しました。これ等のチーム制による作業分担は34回開催時に試み、今日では定着した作業スタイルになりました。

参加者：

	一般	森永乳業	当会	合計
第一会場(上流組)	9	21	9	39
第二会場(下流組)	9	21	10	40

○看板を見て参加した方3名

○市報を見て問い合わせが2名

☆新規入会者が1名

◇親子連れの参加6組

前回同様に、今回も野口橋右岸側の高欄真下に今回のクリーンアップ実施日直近に投げ捨てられたと見られる大袋入りの多量のゴミが収集されました。実に嘆かわしい行為であり、周囲に非常識な市民が存在していることは残念極まりない悲哀なことです。

参会者によるゴミの収集量が漸減しており、収集作業時間も早く終わる傾向にあります。当日の収集ゴミ量の漸減は、平生からの会員によるゴミ収集活動に因るものであり、今回も予定通り 11 時半には大量に集積されたゴミの分別作業が終了できました。

初参加の美住町住いの一組の母子は美住町集会所でのトン汁の配膳や給仕から食器洗いまで作業支援していただき、同席者から大きな喝采が起こる実に微笑ましい風景が見られました。

今回、野口橋右岸の下流部、管理道路の一角に新たな「ゴミ捨て場」が見つかりました。北北建の「ゴミの不法投棄は犯罪です」の簡易看板が設置されている箇所でありながら、ロヤカー一台分の大量雑ゴミが蓄積されており、新しい塗料空缶や植木鉢まで混じっていました。今後の成り行きを観察して、常態化するようでしたらその防止策に季節の草花を植栽する「ミニ花壇」新設を試みます。

恒例の豚汁の軽食を終えた 13 時過ぎに、参会者皆様に無事故で活動を終了した謝辞と作業慰労を述べ、併せて次回の参加もお願いして解散しました。

改めてジュースを多量に提供いただき、森永乳業様にお礼を申し上げます。



当日の収集ゴミの分別量は会場別に以下の通りでした。(70L袋)

	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ビン、カン	ペット	その他
第一会場	35	5	4	4	9個*
第二会場	28	6	2	3	4個*

9個*(マット、木製看板、トースター、混合燃料、コンプレッサー、大型土壌×2袋、自転車×2台)

4個*(消火器×2個、アイロン台、自転車)

第二回環境フェアに出展しました！

平田 健一

○開催日時：2018年12月18日(火)～23(祝)

9:00～16:30

◇場所：東村山市 中央公民館 1階展示室

今回は、空堀川の現状と原因・対策、当会の活動についてA1のパネル6枚空堀川の魚、関係する本・表彰状他を展示し、川あそびの楽しさを伝えられるようなパネル展示を追加してみました。また、できるだけ当会会員が説明するようにしました。

みなさん、お疲れさまでした。
日曜日には、ヒガッシーも来てくれました。



今回も時間が無く、準備がバタバタになってしまい申し訳ありませんでした。今回は、平日もですが特に土日にイベントが無く、時期の問題もあって、来場者が少なかったです。

次回からはもっと大勢の方に来ていただけるようにしたいと思います。いろいろなルートで、川遊びの楽しさを伝えられる環境フェアにしたいと思います。



ガサガサに行こう！

協力頂いた方、おいでになった方ありがとうございました。

東村山市環境・住宅課 主催の環境フェアに、前回年度(1月)に引き続き出展しました。今回は、市民団体は当会・北川かつぱの会・東村山エナジーとガイウェイ東村山が、参加しました。

花壇の手入れ

原田 秀二

◆◇下堀公苑向い側、からぼり広場アイリス畑、ハマナス畑など◇◆

雑草の生命力の力には圧倒されるものがある。了解を得て会員で管理している「お花畑」が二月、三月でカラスノエンドウ、ナガミヒナゲシ、イヌムギなどお花畑の看板を覆いつくす勢いで成長している。そんな中でも数輪のチューリップがけなげに咲いているのがいじらしい。

4月13日、雑草引きをするが、腰、膝が辛く、3分の1を残しギブアップ。抜いた草を集めてみると意外に多量なのに驚く。

4/22、分部さんが購入してきたマリーゴールド、ペチュニア、ベゴニアを植えるため雑草引きは、とりあえずナギナタガヤは残すことにして、きれいにした後、二人で植え付ける。

4月半ばからジャーマンアイリスが蕾を膨らませ、下旬には満開状態でした。ハマナス畑も小池さんの草取りで蕾も付けぼつぼつと咲きだしました。

6月9日から、公苑の定例整備が始まる。今回は協力者が多数おり、時間の余裕が出来たので花壇の雑草が増えたので草引きにも手が回った。一人、二人でやるより皆で作業するとアツと言う間である。最終日には、浄水場前・堆肥置き場の整備までする事が出来た。



ハマナス畑の草取りも6月、8月と暑い中、小池さんにやって頂き、今年は蕾の数もやや多い。

9月は台風で「子どもの水辺」の河段にも水が流れ、業者の草刈り後の破断枯草がハマナス畑を覆いワンド周囲の柵にも多量にゴミが掛かり、ハマナスの生育や景観、ワンドの生き物などにもよくないと思い、ハマナスからゴミの除去、ワンド周囲の手強いカナムグラ、オオブタクサ刈り取り、ゴミの一部整備にかかる。

(6)

11月は大相撲・千秋楽の会のTV観戦前にチューリップ畑に咲き残った花を残し、パンジーを植え、会のアピールに名前を入れた板を取り付けました。また、副理事長の岡田さんが長年栽培に携わってきたジャーマンアイリス（ドイツアヤメ）畑を整備してゆりのき広場、第三なかよし広場の畑から株を掘り出し、株分けし葉を切り揃え植え付けをしました。また、親水階段下流側にも新たに小池さんが丁寧な仕事で畑を増やしてくれました。

12月に入ると、再度岡田さんが堆肥置き場近くにジャーマンアイリスの畑を新設してくれましたので花の咲く初夏が楽しみです。

年末最後に、チューリップ畑の霜枯れた花株を堆肥処分してお花畑の整備を終えました。



◇◇◇ 新入会員自己紹介 ◇◇◇

高橋 衛

改めて思い返すに私と空堀川の関係は、平成元年川からほど近い久米川町に居を定めてから30年ほどに。

勤めているときは山行のための足づくりに、退職してからは四国遍路、スペイン巡礼の準備のために川沿いを歩く程度。

川に目を転じて、剥き出しの河床には白っぽい石がゴロゴロ。水など全然流れていない無残な姿を眺めるだけの希薄さ。

そんな空堀川に「清流を取り戻そう」という大それた企てを持った集団があった。まるでチンギスハーンの墓を探し当てようとするロマン溢れる人達かと思いきや、集団はいたって真面目。川沿いの清掃は元より雨水利用システムの提言、地方河川の調査、研究となかなかの強者揃い。

草刈り、清掃のお手伝いから、分部さんの甘い言葉に誘われていつの間にか入会となった、おのが不明を恥じるばかり。

諸兄の寛容なお心の下に、お引き回しよろしく申し上げます。

川・見てある記

－ 理想の空堀川を見つきたい！

分部 光春

新年開けましておめでとうございます。皆様元気にお過ごしでしょうか？
この会に入会させて頂いて10数年になりますが、昨年は親水階段完成に始まって、川まつりの防災ゾーンの大盛況、アリアケギバチにビックリで念願の河川内樹木の伐採などなど、10年来の活動が成果を生んだ1年間でした。そこで今年は今迄もやっていた「川の見学会」に真剣に取り組みたいと思います。「川の見学会」とは仕事のついでなどに日本あちこちの河川を見て歩くというイベントで、今迄に酒匂川を始め、津波被害の東北の河川黒部川に大雨被害の高梁川など廻ってきました。今年、その様な川の中で理想の空堀川に近い川を探してきたいと思っています。昨年10月に訪れた神戸市灘区（灘の酒蔵通り）に、都賀川と言う川が流れています。水源は六甲山で1.8キロと短く、多変な急流で昔は水車が多くその動力は酒米の精米に使われ、灘に酒蔵が多い要因だと言われています。その都賀川も阪神淡路大震災後改修され、下流はコンクリート護岸の放水路の様な川になりました。

実は、20年位前ゲリラ豪雨で園児など5人が流された場面をライブカメラで放送された、困った川だったんです。その後親水階段が増設され、安全対策なども十分にされ今では草木も茂り、アユなどの遡上も見られる癒しの川に成りました。水の洩らない三面張りで植生や魚たちも確保され、癒しの小路があり、探している理想の空堀川にちょっと近い様な気がするんですが如何でしょうか。

いつしか空堀川がこんないい川に成って大喜びしている初夢を見た分部でした。



都賀川 神戸市灘区
- 理想の空堀川 -

(8)

これまでの経過と今後の予定
(2018/10/20~2019/5/26)

- ◎10/20 がたろう通信第95号発行
- ◎10/22 秋の定例作業、下堀広苑
~25 ふれあい広苑
- ◎10/28 白子川源流まつり見学
- ◎11/10 第237回定例会、事前CU
- ◎11/13 放射線量測定
- ◎11/17 第43回秋の空堀川クリーン
アップ
- ◎12/4 環境フェア打ち合わせ
- ◎12/8 第238回定例会
ユリノキ小屋修理
- ◎12/10 臨時定例会、忘年会
- ◎12/15 第2回市民協働講座
- ◎12/18 第2回環境フェア
~23
- ◎12/19 流連第9期第2回(視察会)
- ◎12/23 久米川町まちかど運動
- ◎12/25 HP リニューアル打ち合わせ
- ◎1/12 第239回定例会
- ◎1/19 がたろう通信第96号発行
- ◎2/9 第240回定例会
- ◎2/13 流連第9期第3回
- ◎3/9 第241回定例会
- ◎4/13 第242回定例会
がたろう通信第97号発行
- 4/20 第44回春のクリーンアップ
- 4/ 流連第9期第3回
- 5/11 第243回定例会
- 5/26 第21回「空堀川・川まつり」



会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

俳句会とのコラボ

首筋から眠りの精や日向ぼこ	墨染めの袖ひるがへし初動行	暮れがたの冬田ついでむ鷺鷥	橋渡る走者の息を初日かな	萬の句の舞ひ降りてきぬ寝枕	寒鴉黄昏時はソプラノも	実雨天山の靈氣に包まるる	初参り生きて見定む新年号	むら雲の残されてをり寒夕焼
喜和	真	ぼたん	案山子	麦	雑木林	紀子	澄	緑

★あやとり句会

からぼり川

がたろう通信

第 97 号

2019年4月27日
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

子どもの水辺「ワンドの改修」

友保 邦弘

現在、空堀川には3つの人工のワンドがあります。東村山浄水場前に2ヶ所、御成橋の合計3ヶ所です。浄水場前の下流側のワンドは平成12年、上流側のワンドは平成20年に北多摩北部建設事務所、御成橋のワンドは平成24年に柳瀬川・空堀川流域連絡会により造成されています。

その内、浄水場前のワンドの下流側（浄水橋近く）は、今でも機能しており、当会でほぼ毎年かいぼりと生物の観察を行っております。メダカ、オイカワ・モツゴ・フナの稚魚、トンボのヤゴ、スッポンの幼生など本川では流速の関係で生息できない生き物が生息しています。ここが、洪水時の生き物の避難場所及び繁殖場所となっていることが確認されています。

現在、上流側のワンドは低水敷の河床及び水位が造成時より1m以上低下しており、水がワンドに入らず、ワンドとしての機能を果たしていません。ここが改修できれば、カイボリの時、これら

の生き物を一時避難させることが出来、数カ月の間底部の天日干しが可能となります。空堀川の生き物の生息環境が大幅に改善されると訴えてきました。

ここで良報です！

ワンドのカイボリ 2018年4月



現在機能しているワンドの上手に新しいワンドを造成することに、東京都北多摩北部建設事務所との間に合意が成立しました。10月頃に造成の予定です。

第44回空堀川クリーンアップ開催

垂水 荘司

永続きした今年の桜も葉桜になり、初夏の暖かさが到来した4月20日、第44回の空堀川クリーンアップが行われた。平成最後の開催でしたが、年号がどうであれ空堀川は毎回同じように「ゴミ」が散乱していることは、誠に残念なことです。今回のクリーンアップの前に一部の区間（天王橋～なかよし橋間）の清掃を行いました、今回も一部区間に大きなゴミが等間隔で4個～5個見受けられ、それも今回会員が処理しました。どうもこの近辺に確信犯者がいるようです。1部こころない人もおりますが、ゴミの量は確実に減少しております。以下が今回の結果です。

参加者

会場	一般	森永乳業	行政(北北建)	自会員	合計
第一会場	10名	23名	1名	8名	42名
第二会場	5名	34名	3名	9名	51名
合計	15名	57名	4名	17名	93名

内小学生4名

内学生4名

ゴミの種類・量 単位：袋

会場	可燃ゴミ	不燃ゴミ	ビン	カン	ペットB
第一会場	14	1	4本	1	1
第二会場	45	6	6		5
粗大ゴミ (第一会場)	ガス台:1台 傘:12本 乳母車:1台 掃除機:2機 段ボール:1束 缶入りペンキ:1缶 各種靴:2足 工事用厚手ビニールシート:1枚 プラスチック棚:1台 鉄パイプ:4本 植木鉢:2				
粗大ゴミ (第二会場)	ジヤ:1台 モーター:1台 鉄パイプ:3本 自転車:1台				

実施状況として第一会場は（上橋～久米川橋）間、第二会場は（なかよし橋～大沼田）間、途中の（久米川橋～なかよし橋）間は事前クリーンアップで4月13日に実施しました。

今年2月ごろから北北建さんの計画で、河道内の樹木の伐採、伐根工事が進められ大変景観よくなりました、しかし自然環境が良くなったとは思えませんがゴミの流れはよくなったのかもしれない。実際ゴミの量は減少傾向にあります。

参加者が多く、時間のゆとりはありましたが、一般の参加者が非常に少なかった。上記表にあるように、大半は森永乳業さんのご協力でした。

今後は一般市民の参加をうながす方が必要であると考えます。

今回は北北建さんから両会場で4名の参加がありました、官、民協力で実施される事は今までもありましたが、空堀川の実態を共有できたこととっております。

今回のクリーンアップで各会場で、新規入会希望者とみられる方が2~3名見受けられたようですがぜひ当会に参入していただくようエスコートしてほしいものです。



思ったより参加者が多く、ゴミの量も減少していたため、各会場とも作業進捗が順調に推移し、11時前後には皆さんに分部会員の手作りのトン汁を食していただき、大変称賛されました。おかげさまで大きな鍋は全てからになり、当会の理事長の閉会の挨拶で無事完了いたしました。

楽しかった花見

関岡 幸夫

テレビが桜の開花も今日か明日かと報じている日の朝、空堀ベストを着た元気なおじさん達が、川の樹木の伐採・抜根の定点撮影会をやったり、柳瀬川との合流点の見学など、あっちこっち忙しいスケジュールをこなして、なんとか下堀広苑の花見会場に滑り込み、陣取り合戦に成功しました。天気も上々、満天の桜の下、諸兄持ち込みの銘酒の数々…。また奥様方の手作り料理を沢山いただきました。宴もたけなわ①樹木の現場写真撮影②ワンドのメダカ放流・アリアケギバチの生存調査③川まつりカモレースの景品候補の選定など、いろいろ話題が持ち上がり…。諸兄の段取りの良さに唯々敬服するばかりです。刻一刻と咲き誇る桜に圧倒されながら、空堀川が次の世代にどんな川になっているかと夢を見て、ワンドまわりの土の下でトンネル掘りに忙しいモグラや、堆肥の下で「もうすぐ本番!」と張り切っているカブト虫もきっと一緒に花見をしているのではないかと春の風を感じながらの一日でした。



東村山市と周辺の旧石器時代・縄文時代草創期遺跡

—台地と川と野水— 平田 健一

2019. 3. 16 (土) 14~16 時東村山市ふるさと歴史館で上記の講演会が開かれました。講師は、野口 淳さん(東京大学総合研究博物館)。石器の研究(特に旧石器)専門

1. 私たちの祖先はどこから来たのか? 遺伝人類学と化石人類学

従来の見解は猿人→原人→旧人→新人(ホモサピエンス)と単線的・段階的な変化であったが、今は原人(アフリカ)からアルデビテクス類、アウストラロピテクス類、パラントロプス類、ホモ属(ホモ・サピエンス、現代人)が順次別れて行った。遺伝子解析から、縄文人は東南アジアから来たと考えられるようになった。

2. 氷河時代とはどのような時代か? どのようなことが起こったのか? 古環境研究と第四紀学

地球の気候は、地球自転軸の傾き・公転軌道の傾き・軌道離心率・太陽輻射熱量により変動する。これらの変動の要素が重なると氷河期となる。

寒い⇒涼しい夏。降水量が少ない。森林限界が今より 1700m 下になって、森林が少ない。針葉樹・草原。高山は、岩場。北極圏が氷河に覆われ、最大 150m 海面が低下→河川の谷が深くなった。

東京湾海面は、今より 100m 下となり、利根川・荒川・多摩川は合流して古東京川に! 河口の標高が下がった→河川の勾配急に→谷が深く。荒川の河床は、今より十数~数十 m 低く→武蔵野台地の縁は、今より高く急な崖に。川の谷は深くなり、台地の水は、地下に吸い込まれた。最も海面低下したのは、約 2 万年前。台地の小河川→涸れ川。三芳町の遺跡では、水源が枯渇して 2 万年前に川が埋まった跡。

3. 東村山市と周辺の後期旧石器遺跡時代 3 万年の歴史をたどる。

東村山市の旧石器時代遺跡は、2 遺跡 3 地点。日向北遺跡: ナイフ型、石ヤリ 笹塚遺跡: ナイフ型、ヤリは少ない。野行南遺跡の発掘には、野口先生も参加されたとのこと。大部分は、小河川沿い(黒目川・柳瀬川など): 定住的 一部は、河川から離れた凹地・野水地形: 季節的な狩猟の場。※野水とは、窪地からの小流のこと。

縄文時代に近い旧石器時代と縄文時代中期の遺跡が、多い。約 1.2 万年前。遺跡の規模・時期(単一・複数)は、湧水や河川の流量によるか?

4. 氷河期の終わりと新たな時代の幕開け: 人類史の中の旧石器時代

・環境の変化と生活・社会・文化の変化: 日本列島と世界

	旧石器時代	縄文時代
気候	氷河時代(寒い)	間氷期(温かい)
生活	狩猟採取生活 遊動生活⇒季節的な狩猟場、テント式	基本的に狩猟採取生活 定住生活⇒川より少し離れた所、堅穴式
狩猟対象	絶滅動物(マンモス、オオツノシカ、ナウマンゾウなど大型)	現生動物(シカ、イノシシなど小型)
石器・土器	打製石器(一部磨製石器・骨角器) 焼成土偶のみ	磨製石器(新石器) 縄文土器

私は、空堀川の水がれの原因を考える上で、旧石器時代からの歴史を知りたかったので、参加してみました。全体の歴史の流れ・生活の様子が良く分かりました。

なお、旧石器・新石器・縄文土器は、ふるさと歴史館の常設展示にあります。

花の管理

原田 秀二

昨年末に岡田副理事長に「こどもの広場」堆肥置き場付近に「ジャーマンアイリス畑」を新たに作って頂きましたが、犬を散歩させる方がリードを長くして「お花畑」内に入っているのを見て1/5に、まだ根付いていない苗が被害を受けると考え、二回に作業を分け二段のトラロープを取り付けました。昨年末の「ユリノキ広場」前の花壇に自転車を乗り入れた対策もそうですが、一部の人の心無い行為が周囲の人の心を痛めます。

1/26 チューリップ畑には爪木崎で購入した「日本水仙」3球を植栽、繁茂する前の雑草を除き、痛んだ木札を修理する。

2/23 馬頭橋付近の小彼岸桜の剪定に「小彼岸桜の会」の皆様と理事長の指導の下、作業を進め、切り取った枝は当会の堆肥置き場に収納しました。午後からはなかよし橋から下流の大沼田橋まで樹木調査を行いました。

3/17 狭山市にある里山を守る復興ボランティアの方々によるチェーンソーの講習会があり、教を乞うと共に交流をしてきました。

3/22 分部家実家の畑改良工事による、彼岸花の移植球根を大量に頂いたので御成橋ワンドのモグラのいたずらで、水漏れ対策にこの彼岸花を河原に植え、チューリップ畑の塀際にも植栽しました。

3/25 社協のご夫人宅の引っ越しで「川の会で」有効利用していただけるならと、庭にあるクリスマスローズとアジサイを頂戴いたしました。アジサイはユリノキ広場へ、花屋で値段を見てビックリのクリスマスローズはチューリップ畑を彩っています。



3/27 は会の資料として定点樹木観測を行い、空堀川合流点観察、下堀公苑でのお花見で懇親を深めました。

4/2 に新青梅街道・栄町陸橋下のアンダーパス入り口にゴミ捨て禁止の看板を設置しました。

4/13 事前クリーンアップで河原を歩くと桃や梅の花、菜の花、ハナニラ、白い日本水仙や黄色い八重咲水仙、スノードロップ、オキザリスなど見られます。倉庫に戻り鯉のぼり整理を手伝いますが、隣のジャーマンアイリスの畑では数輪ではありますが紫色の花を咲かせていました。蕾もありこれからが楽しみです。

川。見てある記 No.2

「空堀川・柳瀬川・合流点見学会」

分部 光春

第96号より連載の始まった「川。見てある記」の2回目ですが、今回テーマは地元の空堀川と柳瀬川の合流点です。理想の空堀川を探そうと始まった企画ですがやはり地元の空堀川と柳瀬川を忘れてはいけません。そんなことで空堀川の撮影会や空堀メダカの放流会、お花見などが行われた3月27日タイトな予定の中ワゴン車に乗って8人で行ってきました。

このような企画は今迄もありましたが、会の仲間でテーマを絞って行ったことは無かったようで話題の合流点工事その後を見てきました。

まずは気になっていた河畔林は心配された根元の洗堀や立ち枯れも無く流連で問題になったザブトン工法？も自然の土砂で覆うわれ、自然の回復力はすごいねと言う感じで皆チョットビックリです。

そして全面コンクリート張りの新河川も3年たって適当に土砂が堆積し植生も見られ、魚道替わりの玉石の河床も、落差で魚が死ぬことも無い様で流れも常時ひい上がることもなく（一部合流点の制御堰が調整されていた）アユの姿も確認され、なおかつ中州状態で孤立し増水時は洪水の心配の有った住民の皆さんにはまず洪水の心配が軽減され、秋津方面の人道橋による交通の利便性アップや公園化で癒し効果もアップの様でバン万歳です。反対反対と10年もやった流連での会議は何だったんでしょう？

（当然10年も喧々諤々やったからこのように成ったと言う意見もありますが）とにかく住民の皆様の安心安全が守られ、河畔林が残り、植生回復やアユの遡上が確認され良い事ばかりのようですが、この地区の生活道路の狭さや新規で始まった所沢側の新橋建設によって一部河畔林の伐採が有った様で、チョット心配事も残った合流点の見学会でしたが帰りに寄った菓大前のカタクリ公園で、カタクリの花が満開で空堀川の恩恵を感じました。



二瀬橋北川と柳瀬川分岐点

新河川調整堤：

大部分は旧河川増水分は新河川に流れます



皆さんの興味が有った清瀬橋付近の旧空堀川の痕跡を調べてみたい分部でした。

「令和元年の空堀川 川まつり」の開催に向けて

岡田 一郎

「特等の変速自転車は美住町のM・R様が射止められました。おめでとうございます」。続けて、「一等賞の自転車は同じく美住町のM・K様が当選されました」は、今年の「空堀川・川まつり」の抽選会時の意気軒昂な私のアナウンスです。節目となる20回開催を記念する初の試みとして行った「記念抽選会」の進行係を私が務めました。

川まつりの終盤に本部前に設置された抽選箱横に立つ、市役所・道路河川課の新任T課長は取り囲む多くの市民の衆目に晒され、緊張の隠し切れない面持ちでした。抽選箱からT課長が間を置きながら選んだ2名の当選者名はマイクを持つ私が紹介しました。これに添えて一人の婦人が「私です！ 特等に当たりました。来てよかった！」の驚喜が、次いで「予想もしていない一等賞が当たり嬉しいです！」の歓喜の声が返され、弾けた笑顔の容姿端麗な婦人二人が円陣組む肩寄せ合う輪の真ん中に飛び出でました。2等から4等までの25名の抽選は友保理事長に要請し、時折当選者の返答がない周囲の反応に留意しながら、満足気に当選券を一枚ずつ丁寧に選び出しました。時おいて垂水理事が27名の各賞当選者名を慎重に掲示用の模造紙に記し始めると、再び取り囲む市民の大歓呼が沸き起こる一方でため息と悲哀の様相も見られました。抽選会に携わった関係者は皆が「抽選会を実行して良かった。参加者から好評を博し成功した」との満足感と感慨を得たようでした。

手元にある住所、まつりに来た家族氏名と参加回数など325枚の各属性が記入された貴重な抽選券を括って、今年の川まつり風景を時折思い起すことがあります。来場市民が興奮のつぼに化した抽選会の実施意義を概観し、川まつり来場者の各種調査分析の重要性も再認識しました。この川まつりに魅せられて子どもの水辺に集う市民の極大化策は、畢竟日頃から我われが求める空堀川の真の「川づくり」や「まちおこし」、そして「スマート・コミュニティづくり」に資する実利活動と評価でき、時代性に富むイベントメニューの充実が求められます。

今年の「川まつり」は新元号の令和元年最初の月、5月26日開催決定の一報が去る3月16日に理事長から発表され、同時に実行委員会は5月14日の一回のみ開催予定も伝えられました。

節目である令和元年の記念川まつりの開催にあたり、昨年に準じた来場者の新たな各種属性調査をも兼ねた記念抽選券発行と抽選会イベントを行うよう提案します。また5月の実行委員会には①川まつりの開催意義を説き、②記念抽選会実施の支援協力要請を行う予定です。

「令和元年の空堀川 川まつり」には実行委員はもとより、がたろう仲間は新たな気概で取り組むことを願っております。

これまでの経過と今後の予定
(2019/1/19~2019/7/13)

- ◎1/19 がたろう通信第 96 号発行
- ◎2/13 流連第 9 期第 3 回
- ◎2/16 第 240 回定例会
- ◎2/19 HP 打ち合わせ
- ◎2/23 河川内樹木調査
小彼岸桜の剪定
- ◎3/9 第 241 回定例会
- ◎3/13 ワンド新設の下見
当会 7 名、北北建 2 名
- ◎3/16 講演会 (ふるさと歴史館)
- ◎3/27 川の定点撮影会
メダカの放流 (御成橋ワンド)
合流点見学ツアー、花見
- ◎4/1 久米川橋アンダーパスの
不法投棄対策掲示板設置
- ◎4/13 第 242 回定例会
事前 CU、掲示板作成
- ◎4/20 第 44 回春のクリーンアップ
- ◎4/27 がたろう通信第 97 号発行
31 年度第一回理事会
鯉のぼり掲揚
- 5/1 令和元年スタート
- 5/ 会計監査
- 5/11 平成 30 年度第 20 回定期総会
第 243 回定例会
- 5/14 川まつり実行委員会 (北庁舎)
- 5/26 第 21 回「空堀川・川まつり」
- 6/ ヤゴ救出作戦
- 6/2 身近な川の一斉調査
- 6/8 第 244 回定例会
- 6/10~ 春の定例作業
- 6/ 流連第 9 期第 4 回
- 7/13 第 245 回定例会
がたろう通信第 98 号発行



会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

俳句会とのコラボ

母が撮るよちよち歩き花の下
朽ち舟に居眠る猫や春惜しむ
昼下がりが川をゆるゆるゴム風船
シャボン玉成層圏のあをあと
堅香子や寺の斜面を走る色
庭仕事終へて一服桜餅
花吹雪平成惜しむ通り抜け
小気味よき音立てて摘む花菜かな
たんぼぼや幼な三人肩を組み

あやとり句会

喜和 緑 真 与志 案山子 麦 雑木林 紀子 澄

からぼり川

がたろう通信

第 98 号

2019年7月13日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

空堀川河道内樹木への対応 (北北建)

友保 邦弘

平成 30 年 7 月の「西日本豪雨」による甚大な被害を受けて、空堀川においても樹木による水害の発生を不安視する市民の要請が市役所に多数寄せられ、市道路河川課が北北建に対応を要請した。

北北建は「柳瀬川・空堀川の草本・木本維持管理ルール」に準じて河道内の樹木を①流木化、②護岸影響、③通行支障の 3 種類に分類し、河道内総樹木 806 本を緊急調査した。その結果緊急性の高い樹木 238 本を 30 年度内に伐採し、その内 144 本を抜根した。

引き続き 31 年度は 201 本を伐採、(295 本を抜根し) 令和 2 年度には 367 本を伐採・抜根する計画である。

本件について令和元年 6 月 19 日に北北建は、市道路河川課、みどり公園課および当会に対して詳細説明を行った。当会から風倒木の伐採は止むを得ないがその他の樹木は剪定やひこ生えの処理にとどめ、抜根は土砂流出の危険性が高く、下流部の土砂堆積による影響が高いので極力控えるように要請したが、北北建は当初の計画通り実施するとの回答であった。ただし「子どもの水辺(第二砂川橋～馬頭橋)」については比較的危険性が少ないので当会と協議しながら進めていきたいとのことであった。

ここで以下の点が検討されるべきであると考えます。

- 西日本の災害は短時間強雨による山崩れで流れが蛇行する部分や橋げたに流木や土砂が堆積し、水があふれて被害を大きくしたのが特徴的であった。はたしてこの現象が空堀川に当てはまるのか？
- 抜根によって河道が軟弱化し、下流部の土砂堆積を引き起こす危険はないか？
- 推測や思い込みではなく科学的根拠に基づいて検証する必要があるのではないか？

これらの点を考慮して「子どもの水辺」について協議し、合意の上で対応してゆきたいと考えます。

第21回空堀川 川まつり開催 (第一会場)

垂水 荘司

令和元年空堀川川まつりは、新しい年号を祝うにふさわしく、紺碧の空の下で第21回が開催されました。



例年のごとく第一会場、第二会場に分かれての開催です。今回で21回を数えますが、空堀川河川環境意識の向上と、地域の町おこしの一環とし捉えて頂いたものと思います。過去には一度の中止はありましたが、平成15年「通水まつり」が北多摩北部建設事務所の主導のもと、東村山市が協同で東村山市民に呼びかけて行われました。現在の「空堀川 川まつり」は諸事情から当会「NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会」が中心となって「川まつり実行委員会」を立ち上げて、過去に11回の川まつりを実施してまいりました。実行委員会は自治会4団体、北多摩北部建設事務所、東村山市道路河川課、NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会の4団体が主体となっております。

5月14日市役所北庁舎2階会議室で実行委員会を行い、今年も今回1回の実行委員会で意思の疎通を図っております。

事前準備は2日を要し、北多摩北部建設事務所では会場の草刈り、土嚢の設置、ステップの構築、当会では鯉のぼりの掲揚、フリーマーケットの線引き、立て看板の作成・取り付け等を実施した。また事前に情報として新聞にチラシの折り込み依頼し東京新聞1,200枚、ASA東村山南3,000枚、毎日新聞700枚各販売店にて毎回無料で引き受けて頂き、大変PRになりました、改めて御礼申し上げます。

5月26日川まつり当日は夏日で、熱中症を心配する程の天候でした。会場の設営は8時前より始まり、市役所の方々にはテント12張り、机椅子の搬入また会員、店舗出店者、他の参加者全員でテント組み立て等に当たっていただき、大変有難うございました。会場設営と同時に子供連れの家族が涼を求め、川で戯れておりました。

大空には約200匹の鯉のぼりが、川まつりを祝うかのように舞う元で、10時よりオープニングセレモニーとして開会式です。美住隣和会の高木さんの司会で、実行委員長の友保氏の挨拶を皮切りに、東村山市長、北多摩北部建設事務所所長の挨拶、国会議員秘書、都議会議員、市議会議員等皆さんには一言づつ挨拶を戴きました。

今年も会場を色濃く分けて、第一会場ではフリーマーケット、ヨーヨー、和太鼓の演奏、丸太切り体験、屋台数件出て約4時間楽しめたことと思いますが、近隣の住民の方々に太鼓の音が不快感をあたえることで、当事者と協議の上、演奏時間を短縮して行うことになりました。

また、トイレの数が足りず、公園の1カ所あるトイレは故障状態になり皆様に大変不便をおかけした。第二会場は一カ所もありません、次の開催では駐車場も含めて大きな反省事項です。

今回も昨年に続けて抽選会を行い、景品として防災用品（手回し発電機付ラジオ）

（昨年は自転車2台）等、5等賞までとし、参加者は約200名でした。出展者の皆様にも景品を提供して戴き抽選会は大いに盛り上がりました。

第2会場の川の水は前々日より堰止めしてためた水で、カヌー、ボートに使用していましたが、午後1時半頃水を放流してカモレース（おもちゃのカモ）を行った。

第一会場では大勢の子供やお親御さんたちが自分の番号が付いたカモを、一喜一憂して待ちわびていました。本部前では自分のカモの番号が読み上げられ、多くの人たちが景品を受け取っていました。しかしある親からカモの到着順番と読み上げられる番号が違うのはおかしい、とクレームがありました。景品に差がないので了解を得ました。次回から順位について考慮しないといけません。

各会場の催物、行事も順調に進みましたが、会の運営には実行委員のみではなく東村山第七中学校生等のボランティアの活動が大きな力となった事です。

終始好天に恵まれ大きな問題、怪我もなく、午後3時には市の道路河川課長の閉会の挨拶で、川まつりの幕は閉じました。

川まつり 第二会場

分部 光春

5月26日 第4回目の「川祭り第二会場防災ゾーン」が、各地域団体の協働で多くの来場者（600～700人）を迎え盛大に行われました。

今年はちょっと趣向を変え、実際の様に想定を立てて—20xx年三多摩地区を震源に大きな地震が発生！空堀川に自治会を中心にした仮設の避難所が開設されたことにしました。

自主防災隊が空堀川の水利を利用して消火活動にあたり、災害支援ボランティアと救助犬が要支援者救助に大活躍！

避難所で長い時間行列の避難住民にヤマザキパンさんと防災倉庫より福祉協力員会が緊急食糧を緊急運搬車で運搬、配給に大活躍！

そこへ慰問団で街ジャム、青葉パーパーズさんが登場、セラピー犬も加わり避難所に癒しを提供—！

という想定でしたが、実際はジーっと待つて頂く配給訓練が、早く配れ〜と大ブーイング。暑さのために防災隊は制服なしでほとんどの緊急時みたい！カヌー安全教室と消防の救命訓練が合体で多くの訓練者で大賑わい！

なんてことになり、自治会より緊急にお借りした、給茶器が晴天、高温の会場で大活躍でした。

昨年大好評？大混乱？だったワンドの生き物観察は安全上と草刈りなどの準備不足で水辺のガサガサに急遽変更しましたが、川エビだけが、大漁で参加者も大喜びという事で—安心。 →次のページへ



(4)

川まつり 第二会場報告 続き



200人以上が並んだ
緊急食糧配布訓練！



石井カヌー教室は
子供に大人気♪



救急救命訓練
は大賑わい♪

そんなこんなの第二会場でしたが、熱中症対策もでき、トイレも訓練会場なので事前か中途退場もOKとのアナウンスのが利いて別段問題は出ませんでした。パンを早く配れ〜！と実践さながらの雰囲気（じ〜と待つのが訓練なんです）がちょっと困ってしまいました。

多くの皆様のご協力を頂きまして大変ありがとうございました。

協力団体のご紹介です

東京都北北健、市役所防災課、道路管理課、協働課、各町自治会、自主防災隊、石井カヌー教室、救助犬協会、災害支援ボランティア、街ジャム、青葉バーバーズ、各町福祉協力員会、中学生ボランティア、ヤマザキパン、東京中央青果、などなど（敬称略）

◇ 広苑維持管理作業に参加して ◇ 高橋 衛

入梅間近の六月三日午前九時、友保部屋の精鋭10名が勢揃い。いよいよ夏の定例作業の始まりだ。下掘広苑・ふれあい広苑の草刈り、植栽剪定、清掃を4日間で行う。

まずは親方の訓示。弟子達の顔に緊張が走る。「けがをしない。環境に優しく人にも優しく、草は10cm残して刈ること」これこそ友保部屋の真骨頂。続いてH氏「適宜水分補給をするように」との注意。この方言わずと知れた部屋の稼ぎ頭。次期横綱候補だ。自前の化粧まわし（作業エプロン）は並々ならぬ意欲の表れだ。次にT氏の号令の下準備体操。この方、北の横綱だけあって温厚だが気力、体力充実。さすがだ。

取りはW氏による作業の割当て。この大関、動きに無駄がない。口八丁手八丁、目配り気配り。側に居るだけで圧倒される。自他共に許す横綱候補。上記お三方に混じって入門したての我が輩が草刈り班。大抜擢でござんす。

トリマーを掛けるのはK（平）氏だ。これは力自慢が担当する。当然次期大関候補。

ゴミ回収班は多士済々。中心のO氏は赤いボルボで颯爽と場所入するカッコ良さ。押しも押されもせぬ南の横綱。部屋の後継者との呼び声も高い。K（久）氏は地下足袋姿の燻し銀。立ち姿が美しい。A氏は頭脳派だ。秘めた力は侮れない。W氏は朝稽古（例会）を欠かさない。S氏は「もっとゴミを！」と土俵への執着心が強い。いずれ劣らぬ実力者達だ。

午後四時作業終了！

ちゃんことビールが楽しみでござんす。



「ヤゴ救出作戦」 南台小学校にて

原田 秀二

5月28日、小雨も上がった曇り空のなか、ユリノキ広場倉庫からたも網などヤゴ捕獲道具を準備して南台小学校へ。

捕獲・救出するのは五時限目から3年生2クラスの皆さんと先生方です。当会からは理事長をはじめ五名の参加で開始いたしました。

プールの状況を見るとやや残り水が多く、このままでは子供たちがかがむとお尻が濡れてしまうので急遽水抜きバルブを開き適正な水位にまで持っていく。そこへ元気よく生徒の皆さんが登場です。

まず理事長から注意事項など話があり分部氏からヤゴの種類、見分け方などの話がありました。



救出作戦中!



先生方をお願いして二組を左右に分かれ、さらにプールに入り捕獲する組、プールサイドで種類と数を調べる組に分かれて交替で調査救出開始です!

最初は恐る恐る水に入っていた子たちも大きなヤゴを見つけると「ヤター!」とドヤ顔で笑っています。プール際ではタモから開けられた落ち葉まみれの中からヤゴを見つけ、こちらも恐る恐る手を伸ばしていましたが、ヤゴが逃げると思わず慌てて捕まえる光景が見え、ヤゴ恐怖症から脱出したようです。

垂水氏の発表で捕獲・救出作戦の結果はヤママ系、アカネ系など約800頭、イトトンボ系が数匹入っていました。

今年は昨年に比べヤママ系が少なくなりましたが、イトトンボ系が見られたのは初めてとの事で、新しい発見でした。

最後に分部氏のトンボとヤゴの泳ぎのクイズで話が終わったのち、裏の学校田圃へ若干の飼育用ヤゴを残し放流し、脱皮用のアシの杭を田圃にさし終了しました。

南台小学校のプールで元気に育ったヤゴ君達



学校田圃へ放流♪



最後までプールサイドや溝の汚れを洗い流してくれた小池久雄氏、ありがとうございました。

秋には再度ヤゴ袋を投入する予定です、ご協力お願い致します。

身近な水環境の全国一斉調査を行いました

平田 健一

全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内7ヶ所で水質・水量の調査を行いました

調査方法

2019年6月2日(土) 10:00~12:00 垂水さん、荒川さんと私の3名で行いました。垂水さん、荒川さん、お疲れさまでした。

調査は、東大和市境の上橋・浄水橋・なかよし橋・御成橋・野行前橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋に御成橋のJR武蔵野線の湧水を追加しました。pH, COD, NO₂-N, NH₄-Nは、パックテストで行いました。

項目	上橋 下				浄水橋 下				御成橋 下			
	2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019	2016	2017	2018	2019
気温 (°C)	22.8	26.4	28.8	25.2	21.9	27.3	28.8	24.4	19.1	23.3	24.4	23.2
水温 (°C)	21.5	24.5	29.8	23.1	21.5	23.9	28.1	23.9	18.9	20.6	20.8	21.5
pH	9.5	9	9.5	9	9	9.5	9	9	8.5	9	8	8.5
EC (μS/cm)	故障	202	1753	1060	故障	218	1064	1013	故障	388	395	320
COD (mg/L)	5.3	6.7	5.3	2	6	5	4	4	2	2	2	2
NO ₂ -N (mg/L)	0.2	0.005	0.005	0.005	0.1	0.005	0.005	0.005	0.02	0.005	0.005	0.005
NH ₄ -N (mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透視度 (cm)	90	88.5	85	90	91	130	88	105	96	107	120	130
流速 (m/s)	0.2	0.42	0.14	0.5	0.4	0.083	0.31	0.33	0.1	0	0.36	0
流れ幅 (m)	1.7	2.7	1.2	2	2.4	6	0.4	2	0.6	0	2.5	
平均水深 (m)	0.24	0.09	0.1	0.1	0.15	0.105	0.03	0.05	0.06	0	0.04	
流量 (m ³ /s)	0.08	0.1	0.02	0.1	0.14	0.05	0.004	0.03	0.004	0	0.03	0

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化 CODは、3回の平均 ECは、東村山水道水で約150μS/cm

調査結果

調査は市内7ヶ所ですが、そのうち水があったのは3ヶ所だけで、残りの4ヶ所は2015年から水がありませんでした。2014年は4日連続で雨が降り7ヶ所測れましたが、2015年以降この状況が続いています。水量が測れたのは2ヶ所だけで、今年も水量が少なかったです。pHは、相変わらず高いです。魚の生息範囲6.8~8.5を超えています。透視度は少し良くなりました。上橋・浄水橋の電気伝導率ECは、昨年から異常なほど高いです。これは、イオンの量を示すもので、汚染が進んでいることを示します。水量が減少していることが原因ではないでしょうか？

・洪水時の計画流量は、 $150\text{m}^3/\text{s}$ (50mm/時間のとき)です。平水時の流量は、これの1/10,000以下しかありません。中小都市河川の宿命とはいえ、余りにもひどすぎます。上橋、浄水橋の流量は一昨年並には戻りましたが、からぼり広場から下流は水が流れていません。

・御成橋には、JR武蔵野線からの地下湧水(600~2000 m^3 /日 JR東日本調べ)が流入していますが、今年は湧水量が少ないのか？水たまりになっているだけでした。見た目にも少ないです。次の達磨坂橋に行く前に水がありません。

ただ今、調査中！



まとめ

空堀川は、東村山市内約6kmの内で約1kmしか水が流れていません。元々は水が流れていたのに！

上橋・浄水橋では、アメンボだけで、魚も鳥もいませんでした。御成橋でも、魚は見えません。調査を終わっても、ため息しか出ませんでした。このデータは、新河岸川流域全体としてまとめられます。空堀川に水がないというデータも重要なので、今後も調査は続けていきたいと思えます。将来、「空堀川ってこんなに水が無い時があったんだね。」と言えるようになりたいですね。

人間がやったことが原因です。なんとか、空堀川に水を取り戻しましょう！



御成橋 たまり水



ふれあい橋 水なし



野行前橋 水なし



大沼田橋 水なし

これまでの経過と今後の予定
(2019/5/1～2019/10/12)

- ◎5/1 令和元年スタート
- ◎5/8 会計監査
- ◎5/11 平成30年度第20回定期総会
第243回定例会
- ◎5/14 川まつり実行委員会(北庁舎)
- ◎5/20 川まつり看板取付、総会資料郵送
- ◎5/25 川まつり会場整備、カヌー花壇作成
- ◎5/26 第21回「空堀川・川まつり」
- ◎5/28 ヤゴ救出作戦
- ◎6/2 身近な川の一斉調査
富士見町子どもサロンの打ち合わせ
- ◎6/3～春の定例作業
- ◎6/8 第244回定例会
- ◎6/10～春の定例作業
- ◎6/13 御成橋記念植樹(天の川)
- ◎6/16 子どもの水辺樹木調査
- ◎6/19 草刈り事前立会い
河道内樹木説明会(市役所)
- ◎6/23 久米川町福祉カレッジ(ゴミ問題)
- 7/11 カヌー花壇打ち合わせ(北北建)
- 7/13 第245定例会
がたろう通信第98号発行
- 7/21 富士見町子どもサロン(ガサガサ)
- 8/8 流連
- 8/ 夏の定例作業
- 9/14 第246回定例会
- 10/ 秋の定例作業
- 10/12 第247回定例会
がたろう通信第99号発行



会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先: 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978



からぼり川

がたろう通信

第 99 号

2019年10月12日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

空堀川 NPO 法人 20 年の思い

友保 邦弘

NPO 空堀川に清流を取り戻す会はもうすぐ 20 周年を迎えます。

情報誌「カラボリ川」も来年 1 月に第 100 号を発行します。

いろんな意味で節目を迎えています。

空堀川の最大の課題は、当会の名称が示す通り水枯れ対策を施して「清流を取り戻す」ことです。

「柳瀬川・空堀川流域連絡会」で策定した、「水量確保対策 10 項目」の中の第 8 項「雨水浸透施設の拡充」は長期的な基本対策であり、第 10 項の「多摩川上流水再生センターの高度処理水導入」は最も即効性の高い施策であります。

空堀川に関心のある各方面の皆様「みどり乏しき水無し空間」を返上して「みどり豊かな水辺空間」を取り戻す活動にご理解とご協力を期待します。



みどり乏しき水無し空間

富士見町子供サロン支援・活動報告

友保 邦弘

『空堀川の自然観察と川遊び』



○支援日時 令和元年7月21日(日)9時～11時

○活動場所 からぼり広場周辺

○支援の趣意 幼児および学童が保護者と一緒に空堀川の自然観察や川遊びを通して河川や水辺の自然と親しみ、広く自然を愛し守る契機の創出と身近な周辺環境保全推進に関心を寄せるコミュニティや市民の育成。

○参加者 児童17名、親16名、ボランティア3名(明治学院高校)、当会8名

《 タイムテーブルと支援活動概要 》

9:00～9:05 開会挨拶 富士見町子どもサロン:門脇裕子様

9:05～9:20 支援活動者挨拶 空堀川に清流を取り戻す会:友保理事長

・空堀川の概要説明と当会の諸活動など・川遊び等の紹介

・参加会員の自己紹介・記念撮影

9:30～10:40 川遊び活動(子どもの水辺エリア)

・魚を採る方法/ガサガサ実施、・魚を採る方法/投網の実演、

・捕獲した魚や昆虫等の観察と一部放流

10:50～11:00 カヌーピオトープ花壇に「生き物」放流

終了挨拶び保護者の一言感想



【捕獲した生き物】

種類	数	サイズ
オイカワ	4	2～8cm
クロメダカ	3	2～3cm
ドジョウ	7	4～11cm
ヨコエビ	多数	1～3cm
ザリガニ	8	3～9cm
アメンボ	多数	
ウシガエル	1	18cm
ヤゴ	2	コオニヤンマ

【参加した皆さんの感想】

- 子供も親御さんも、当会会員も生き生きと楽しく活動した。特に子供達はすぐに川に慣れてタモ網も教えた通りに上手に扱っていた。
- 投網の実演でオイカワの雄が採れた瞬間には大喝采。子供たちが嬉々として魚に触っていた。大人3人と女の子1人がトライしたが、全員初めての経験だったが上手に開いたのには驚いた。
- カヌーピオトープ花壇にドジョウ2匹、メダカ2匹エビを多数放流した。珍しいカヌー花壇に驚いていた。
- 寝る前に子どもたちが「今日は1日が1時間くらいだった!!楽しかった!!」と話していました。

空堀川生き物観察会

小川 恭子

夏休みの終わりに、開催されている。今年で3回目の空堀川生き物観察会。

8月25日、御成橋に集合！今年は、いつもの空堀川キッズと3家族そしてワンちゃんも参加でした。青葉町のお祭りの日程と同じ日に設定されています。



- 9時～ 観察会準備：草刈り、道具の準備、川床の準備
- 10時～ ワンドのカイボリ、先生による生き物の観察会、投網の実演
- 11時～ アリアケギバチ、空堀メダカ探し
- 12時～ 川床納涼会



一般の参加者が毎年増えています。
夏の終わりの恒例の行事になってきました。

なんと、25cmの
アリアケギバチ捕獲！



八月の定例作業

原田 秀二

六月初旬に続き、八月・盛夏のなかでの広苑定例作業です。

今回は「青葉町まつり」に合わせて日程調整をしました。通常は四日間を基本に作業をしていますが、今回は「ふれあい広苑」左岸側の柵から飛び出し、成長した雑木を伐採するため（業者と共同作業）日程など調整のため、ふれあい広苑の草地部分のみとしました。

依って「下堀広苑」二日間、「ふれあい広苑」一日の三日間となりました。

今年は下堀広苑、ふれあい広苑とも天候不順のせいか生え方が疎らで刈りづらい物でした。しかし雑草は遅くわずかに二ヶ月でそれなりに成長しています。今回は参加者がいろいろな事情で少なくご協力頂いた皆様の負担が増しましたが、NPO 空堀川に清流を取り戻す会の想いと意地をかけ、広場内だけでなく、都の河川管理道路としてだけでなく、生活道路、遊歩道となっている状況のなか、歩行者に邪魔になるほど生い茂った箇所も刈り払い処理しました。

下堀広苑付近は下流側広場の端から野行前橋間、

上流側広場は端から達磨坂橋手前の半ばまで行い、ふれあい広苑のふれあい橋から第三天王橋の右岸をスキ、ヨモギなど刈取りました。この箇所は指定外の場所でしたが、参加者で話し合い「やって置きましょう」と言う事になりました。

今後の課題として見てきたことは、安全面では刈り払い機で小石など飛び散るのを防御するためのネットや、カラーコーン・コーンバーの増設と監視員の増員などです。

カラーコーン・コーンバーに作業中のため迂回をお願いする掲示をしているが、これをずらして通行する人のなんと多い事か！こうしたことから事業費の増加や会員の高齢化に伴い作業参加者の減少など、今後の事業継続にも支障が出る事も考えられます。



男たちの花壇



理事長が育てたハマナスの苗を移植。

ユリノキ広場のカヌービオトープ完成！



移動式にしようと木枠にキャスターを取り付けその上にカヌーを載せましたが、北北建から転覆などの危険がありキャスター一本枠などは外すよう提言がありました。

6月21日富士見町子どもサロンによる「子どもの水辺」があり、会の最後に子供たちが小魚をカヌー内に放流しました。

RP製のカヌーをビオトープにしました！

浄水場前の堆肥置き場から水漏れのため放置されていた、カヌーを、6月上旬に友保理事長とリヤカーでユリノキ広場に運び出しました。水漏れ対策に苦労しましたが、何とか解消。プランター、植木鉢に草花を植え完成しました。



----- ◇◇◇ 新入会員・紹介 ◇◇◇ -----

この会との出会い

山口 雅晴

初めまして山口です。久米川町2丁目、スポーツセンターの近くに住んで、もう40年ぐらいいなります。既に後期高齢者の仲間入りです。現役のころは住宅と職場の往復。休みの時は山登りばかりで、地域との繋がりが少なく、今になり申し訳ない気がしています。空堀川のクリーンアップ作戦の行事には何回か参加し、川まつりでも楽しませていただきました。

話が飛びますが、僕にも孫ができて、誕生記念植樹を思いつき桜の幼木1本を植えた

いと、あちこちにあっていたので、なかなか無くて弱っていました。そしてたまたまの空堀川クリーンアップ作戦の折、さる役員さんに漏らしましたところ、相談ののってくださりましてトントン拍子に事が進みました。その結果、6月13日に空堀川右岸、御成橋の近くの遊歩道脇に待望の植樹ができたのです。会の多くの皆さんにお世話をいただいてメダシメダシの運びとなりました。深く感謝申し上げます。

これからも、空堀川クリーンアップ作戦には頑張りたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



四万十川見てある記

分部 光春

9月21日～25日にかけて、台風16号が接近している中、四万十川の見てある記をしてみました。

四万十川は全長196キロ、流域面積2,180キロ平米の河川です。ダムがなく、緑が多く、沈下橋などの見処が多く、ガイドブックには「日本最後の清流」と書かれており、近年では外国人観光客にも大人気の観光スポットです。

この日は台風の影響でいつもはお客で一杯の沈下橋見学も静かで、地元の人もビックリするくらいでした。沈下橋は生活道路で、本来山間の部落の交通用に人馬がやっと通れる位の橋で洪水の際に、流れに沈んでしまう橋の事です。その為に鉄筋コンクリート造りで、流れ出たゴミがひっかからない(方言表示)様に簡便な造りになっているようです。

四万十川には支流も含めて47本あるそうでビックリです。

昨年の豪雨災害で、眺めがよく大変人気のあった岩間の沈下橋の桁が流れて通行止めになっており、昨年の豪雨災害の恐ろしさを感じました。



高瀬の沈下橋は広いほう、上流には軽がやっとの橋も



観光客の飛び込みの多い勝間の沈下橋



景勝地で人気の岩間の沈下橋は先の増水で流されて通行止めです

四万十川は近年観光化され外国人観光客が増えています、川沿いを通る国道441号線は国道とは名ばかりで「ホツトと一軒家」に行く山道の様なところが一杯あり、軽自動車もすれ違えません。当然譲り合いなのですが、比較的温和な性格の私も驚くくらい、地元ナンバーの方は止まって手招きして譲ってくれます。でも外人レンタカーはどんどんきますので注意が必要です。

四万十川は流域に緑の森が多く湧水も豊富、小さな堰きはあるがダムも無く、自然豊かな川(でも水質はあまり良くない)でした。これからもこのままで、あまり観光化されずにいてほしいと思った「四万十川見てある記」でした。

ここで、プレゼント付き四万十川クイズです。四万十川沿いを通る国道441号線の路面に、画像のような大きな数字が書かれています。この数字はなにに？一番目の正解者の方には画像の四万十川名物を差し上げます。

奮って編集部までご連絡ください。次回は筑後川の導流堤の見てある記です



この数字はなにに？

四万十川名物



「がたろう通信 からぼり川100号」掲載

原稿執筆のお願い

日頃はNPO法人空堀川に清流を取り戻す会の諸活動に多大なご支援ご協力をいただき心から厚くお礼を申し上げます。

さて、平成12年2月にNPO法人化しました当会は来春に設立20周年を迎えますが、同時に会報「がたろう通信 からぼり川」は来春1月の発行で100号を数えることで、「がたろう通信 からぼり川100号」発行委員会を設けました。

つきましてはこの節目となる創刊100号はA4版のカラー特別号として発行することになり、当該号には会員皆様の「記念の一言集」を掲載することになりました。

会員の全ての方々に原稿執筆をお願いして、NPO法人20周年を迎える記念に相応しい特別号に仕上がることを企図しております。

今日まで空堀川に関わって来られた活動の一端や悲喜こもごもの思い出はもとより、日頃から関心を寄せている環境の問題など、また独自の趣味や健康づくりの紹介、ご自身のエピソードなど諸事雑感をご自由なテーマでのご寄稿をお願いいたします。

ご多忙の折とは存じますが、編集作業や印刷仕上がりの関係から11月20日までに下記の要領にてご送付いただきますようお願いいたします。

時節から貴殿はじめご家族ご一同様のご自愛をお祈り申し上げます。

「がたろう通信 からぼり川100号」掲載 原稿執筆の要領

1. テーマ

当会設立20周年を迎える今日、貴殿の空堀川にまつわる活動や思い出、環境問題ほか諸事雑感等を自由な「テーマ」でご寄稿いただきますようお願いいたします。

2. 原稿文字数 本文 800文字以内（テーマ名と氏名は除いて）

3. 送付先 平田健一

① E-mail k_hirata@bc4.so-net.ne.jp

② 郵便 〒189-0014 東村山市本町1-17-3-508

4. 締切日 令和元年11月20日

これまでの経過と今後の予定

(2019/7/10~2019/12/)

- ◎7/10 環境審議会委員の推薦
- ◎7/11 カヌー花壇打ち合わせ(北北建)
- ◎7/13 第245 定例会
がたろう通信第98号発行
- ◎7/17 カヌーピオトープ防水シート設置
ドジョウ2尾、エビ2尾放流
- ◎7/21 富士見町子どもサロン
空堀川の観察会と川遊び
- ◎8/8 流域連絡会
- ◎8/17 夏の定例作業 下堀広苑
- ◎8/19 夏の定例作業 ふれあい広苑
- ◎8/20 市民協働課と
CUについて打ち合わせ
- ◎8/25 御成橋ワンド生き物調査・川床
青葉町夏祭りに参加
- ◎9/4 子どもの水辺手入れ作業
- ◎9/5 三仲倉庫の扉修理
- ◎9/14 第246 回定例会
がたろう通信100号委員会設置
会計担当引継ぎ打ち合わせ
- ◎9/18 森永乳業東京多摩の見学会
- ◎9/19 子どもの水辺ハマナス苗の植栽
- ◎9/19 よろず交流会(市民協働課)
- ◎9/28 がたろう通信第100号委員会
- 10/2 会計担当引継ぎ
- 10/12 第247 回定例会
がたろう通信第99号発行
第2回東大和・空堀川川まつり
- 10/15~秋の定例作業
- 11/9 第248 回定例会
事前CU
- 11/12~環境フェアー
- 11/16 第45回秋の空堀川クリーン
アップ
- 12/14 第249 回定例会
- 12/ 流域連絡会
- 12/ 忘年会

<h2>会員募集</h2>

「NPO法人 空堀川に清流を取り戻す会」
では、会の活動を支援し参加して下さる方を
募っています。 NPO 法人の活動に関心のある
方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円、
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

<h2>空堀川の白メダカ 産卵♪</h2>



(8月25日 御成橋近辺にて捕獲)